沖縄県ＭＩＣＥ開催実態調査

（令和７年版）

報 告 書

令和８年 11 月

沖　　縄　　県

目次

１．開催実態調査 1
１－１．調査目的 1
１－２．令和７年の調査について 1
（１）調査対象期間 1
（２）調査対象催事 1
（３）調査対象施設等 1
（４）調査・集計方法 1
１－３．過去７年の調査対象件数と回答件数 2
１－４．調査対象区分と回答内容 2
１－５．MICE 開催実態調査 3
１－５－１．調査結果概要 3
（１）全体の開催件数 3
（２）全体の参加者数 5
１－５－２．規模別開催実態 7
（１）規模別開催件数 7
（２）参加者数 1,000 人以上の開催件数 10
（３）海外及び県外参加者 300 人以上の開催件数 12
１－５－３．月別開催実態 14
（１）月別開催件数 14
（２）月別参加者数 16
（３）月別１件当たり平均参加者数 18
１－５－４．平均会期日数 21
（１）平均会期日数 21
１－５－５．参加者区分別開催実態 23
（１）参加者の地域分布 23
（２）海外参加者を伴う催事の開催件数 25
（３）海外参加者数の推移 26
１－５－６．その他区分別の開催実態 27
（１）産業別開催件数・参加者数 27
（２）参加者の主な出発地 33
（３）エリア別・市町村別開催件数 35
（４）エリア別・市町村別参加者数 41
（５）施設別開催件数 45
１－６．経済波及効果の結果 48
１－６－１．経済効果（直接効果） 48
１－６－２．経済波及効果 51
２．参考資料 52
２－１．開催実態調査　調査票 52
２－２．ガイドライン 53

１．開催実態調査

１－１. 調査目的

本調査は、今後の MICE 施策推進に向けた基礎資料とするため、沖縄県における MICE の開催実態を把握することを目的とする。

１－２. 令和7年の調査について

（１）調査対象期間

令和７年１月１日～令和７年 12 月 31 日（１年分）

（２）調査対象催事

以下に該当する MICE 催事で、かつ、県外又は海外からの参加者（主催者を除く）が 10 人以上の催事を対象とする。

① 企業等の行う会議（Meeting）
② 企業等の行う報奨・招待・研修旅行（Incentive Travel）
③ 国際機関・団体や学会等が行う国内・国際会議（Convention）
④ 展示会・見本市・商談会（Exhibition）
⑤ その他ビジネスイベント（Event）等

※令和２年までは「Ｅ（Exhibition, Event）」をまとめて集計していたが、令和３年から「Ex（Exhibition）」と「Ev（Event）」とに細分化して集計する方法に変更した。ただし、一部図表については、従前どおり「Ｅ（Exhibition, Event）」とまとめた形式で表記している。

（３）調査対象施設等

① 会議施設
② 宿泊施設（主にバンケット機能を有する宿泊施設）
③ 県内大学
④ 団体受入を実施している観光施設等
⑤ 沖縄県又は OCVB が指定する施設・団体（MICE 受入実績を有する旅行会社・PCO 等）

（４）調査・集計方法

調査は所定の WEB フォーム又は調査票（参考資料２―１）を電子メール（一部、郵便）にて調査対象となる施設等に送付する方法により実施した。なお、データ集計に際しては、以下の内容について精査した上で集計を行った。

① 回答の中で催事名及び開催期間が重複した場合、同一催事とみなし統合
② 「沖縄県 MICE 開催実態調査ガイドライン」（参考資料２－２）に該当する実績を集計（ガイドラインに定める調査対象催事に該当しない催事は除外）

※小数点以下の数値は四捨五入表記としており、総和と各項目の合計が一致しない場合がある。

１－３. 過去7年の調査対象件数と回答件数

調査対象件数及び回答件数は下表のとおりである。

図表1.　　調査対象件数及び回答件数　【令和元年～令和７年】

（単位:件）

	令和元（平成 31）年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
調査対象件数	520	547	506	510	438	412	433
回答件数	386	429	384	416	333	338	356
うち受入有	118	136	100	105	114	132	149
受入無	268	293	284	311	219	206	207
回答率	74%	78%	76%	82%	76%	82%	82%

１－４. 調査対象区分と回答内容

本調査の対象区分と回答件数等は下表のとおりである。

図表2.　　調査対象区分別・回収件数

（単位:件）

団体・施設・期間	送付件数	回答（MICE 受入の確認）			未回答	回答率
		受入有	受入無	合計		
会議施設	64	24	33	57	7	89%
ホテル	117	46	44	90	27	77%
ユニークベニュー	21	10	7	17	4	81%
旅行会社	25	5	12	17	8	68%
体験プログラム	33	11	10	21	12	64%
視察・見学	19	7	7	14	5	74%
官公庁・外郭団体	107	25	78	103	4	96%
産業団体その他	34	13	12	25	9	74%
PCO	13	8	4	12	1	92%
合計	433	149	207	356	77	82%

１－５. MICE 開催実態調査

１－５－１．調査結果概要

（１）全体の開催件数

沖縄県における MICE 開催件数は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和２年及び令和３年には大幅に減少し、県内の MICE 関連産業は厳しい状況に置かれたが、令和４年１月９日～２月 20 日まで適用された「まん延防止等重点措置」が解除されたことを受けて実績は徐々に増加し、令和４年の開催件数は計 958 件であった。令和６年には開催件数が計 2,073 件となり、これまで最多であった令和元年を上回り、調査開始以来最多件数となった。

令和７年の開催件数は計 2,473 件（前年比 119%、400 件増）となり、令和６年の実績を上回って調査開始以来最多件数を更新した。

催事別（M/I/C/E）の構成は、過去の傾向と同様に「Ｉ（Incentive Travel）」の割合が大きく、1,733 件で構成比 70%となっている。次いで「Ｍ（Meeting）」が 291 件（構成比 12%）、「Ｃ（Convention）」が 241 件（構成比 10%）、「Ｅ（Exhibition, Event）」が 208 件（構成比 8%）であり、年間の開催件数は「Ｅ（Exhibition, Event）」を除く催事において前年に比べ増加している。

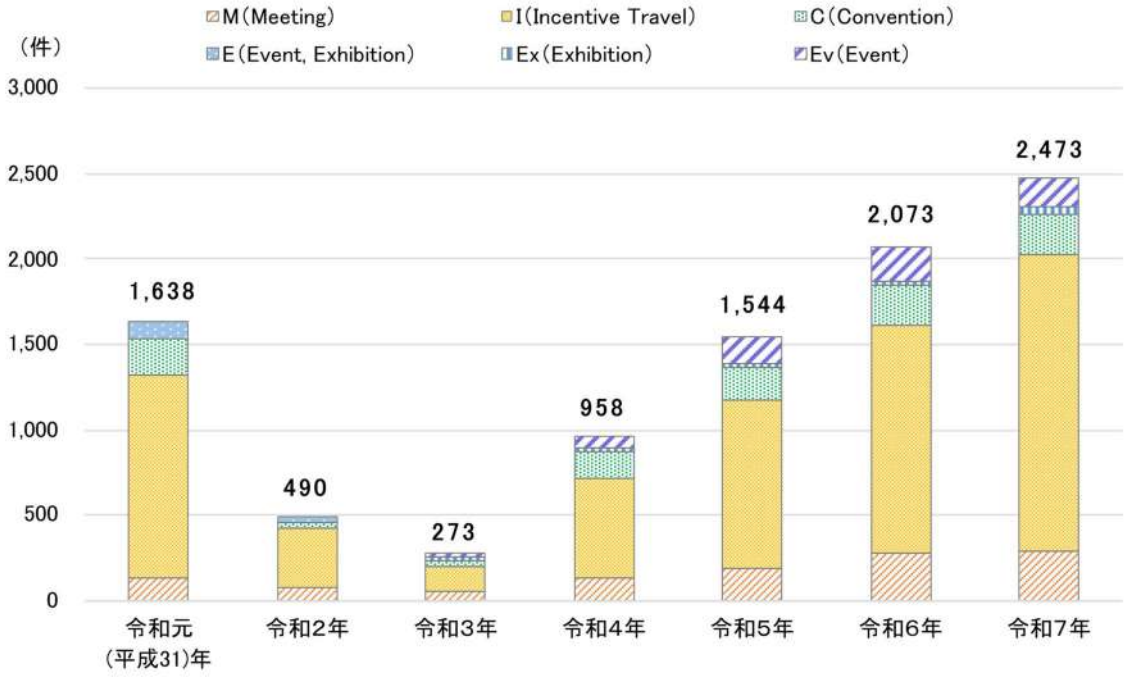
開催件数の増加には、コロナ禍後の対面交流需要の回復に加え、燃油サーチャージや円安、海外現地物価の上昇を背景に、社員旅行や報奨旅行の開催地として沖縄が選ばれたことが影響したと考えられる。特に「Ｉ（Incentive Travel）」では、社員の士気高揚や組織の結束を目的としたキックオフイベント、周年旅行、表彰式などの需要が開催件数の増加につながったと推察される。また、全国的な営業展開や主催者への積極的な提案も、案件獲得を後押ししたと考えられる。

図表3.　　年別開催件数　【令和元年～令和７年】

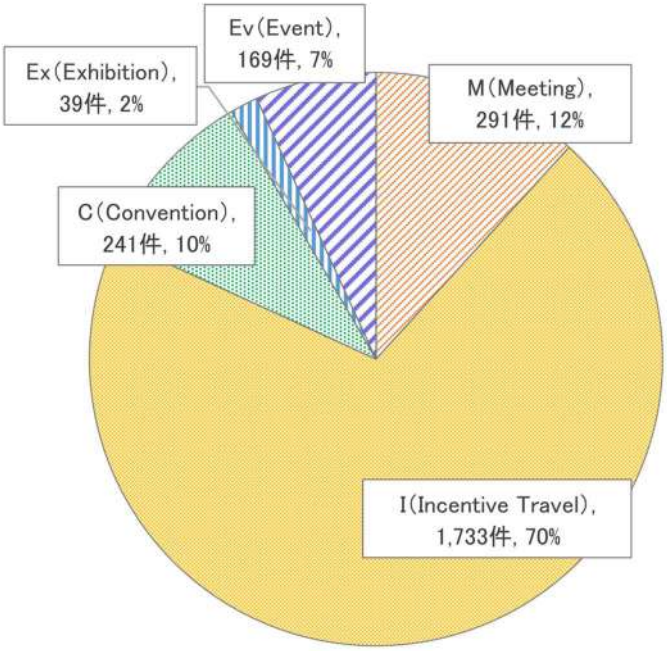
（単位:件）

	令和元（平成 31）年	令和２年	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年	令和7年			
	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数（割合）		増減数	前年比
M（Meeting）	128	81	51	131	183	282	291	(12%)	9	103%
I（Incentive Travel）	1,191	341	148	588	993	1,329	1,733	(70%)	404	130%
C（Convention）	216	40	36	148	185	233	241	(10%)	8	103%
E（Exhibition, Event）	103	28	38	91	183	229	208	(8%)	-21	91%
Ex（Exhibition）	－	－	14	23	29	31	39	(2%)	8	126%
Ev（Event）	－	－	24	68	154	198	169	(7%)	-29	85%
合　計	1,638	490	273	958	1,544	2,073	2,473	100%	400	119%

図表4.　　開催件数の推移【令和元年～令和７年】



図表5.　　令和７年　催事別開催件数の割合



（２）全体の参加者数

令和７年の参加者数は計 1,313,075 人（前年比 108%、101,919 人増）となった。

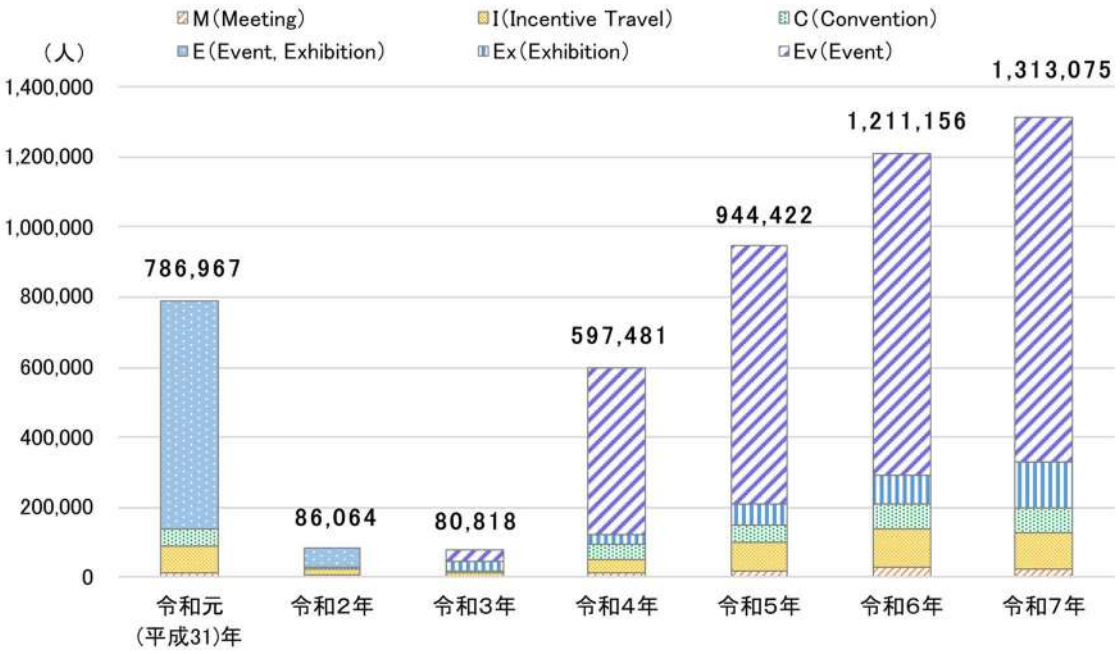
催事別（M/I/C/E）の構成は、過去の傾向と同様に「Ｅ（Exhibition, Event）」の割合が大きく、1,112,424 人で構成比 85%、次いで「Ｉ（Incentive Travel）」が 103,406 人（構成比８%）となっている。

図表6.　年別参加者数　【令和元年～令和７年】

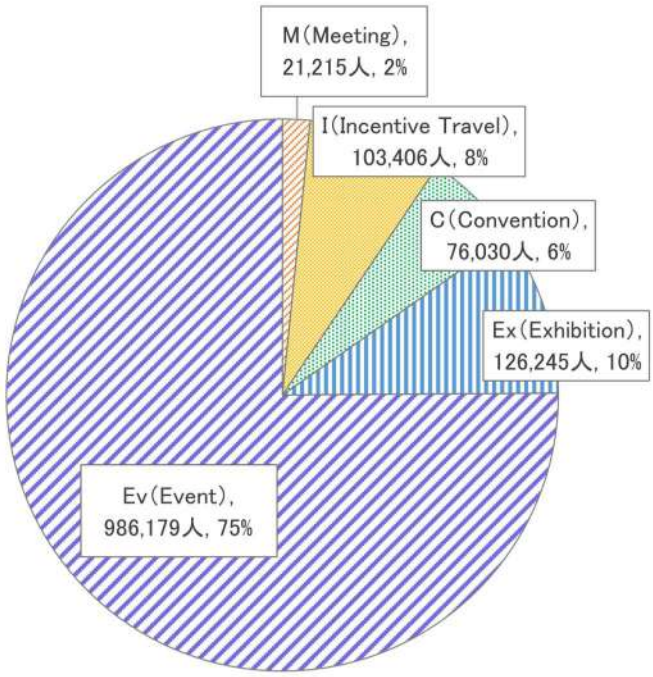
（単位：人）

	令和元（平成31）年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年			
	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数（割合）		増減数	前年比
M（Meeting）	9,923	5,260	4,221	13,866	17,685	31,120	21,215	(2%)	−9,905	68%
I（Incentive Travel）	77,250	17,342	7,987	38,010	79,702	106,284	103,406	(8%)	−2,878	97%
C（Convention）	50,072	6,247	5,993	44,946	50,291	69,971	76,030	(6%)	6,059	109%
E（Exhibition, Event）	649,722	57,215	62,617	500,659	796,744	1,003,781	1,112,424	(85%)	108,643	111%
Ex（Exhibition）	−	−	28,123	24,303	60,965	85,175	126,245	(10%)	41,070	148%
Ev（Event）	−	−	34,494	476,356	735,779	918,606	986,179	(75%)	67,573	107%
合　計	786,967	86,064	80,818	597,481	944,422	1,211,156	1,313,075	100%	101,919	108%

図表7.　　参加者数の推移【令和元年～令和７年】



図表8.　　令和７年　催事別参加者数の割合



１－５－２．規模別開催実態

（１）規模別開催件数

令和７年の開催件数について、参加人数の規模別では、100 人未満の小規模催事（10～49 人：1,475 件、50～99 人：394 件）が全体の 76%を占めており、100 人以上 1,000 人未満の中規模催事（100～299 人：315 件、300～999 人：146 件）が 19%、1,000 人以上の大規模催事（143 件）が６%となっている。令和６年と比較すると、小規模催事は 398 件増（前年比 127%）、中規模催事は 22 件減（前年比 95%）、大規模催事は 24 件増（前年比 120%）で、小規模催事において増加率が大きい。

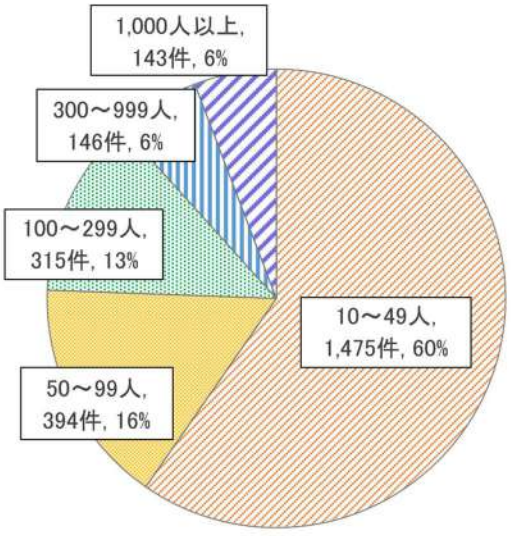
また、催事別では小規模催事が 88%と大部分を占める「I（Incentive Travel）」（1,518 件）がある一方で、「Ev（Event）」では中規模催事（65 件）及び大規模催事（101 件）で 98%を占めており、より規模の大きな催事が開催されたといえる。

図表9.　　令和７年　規模別開催件数

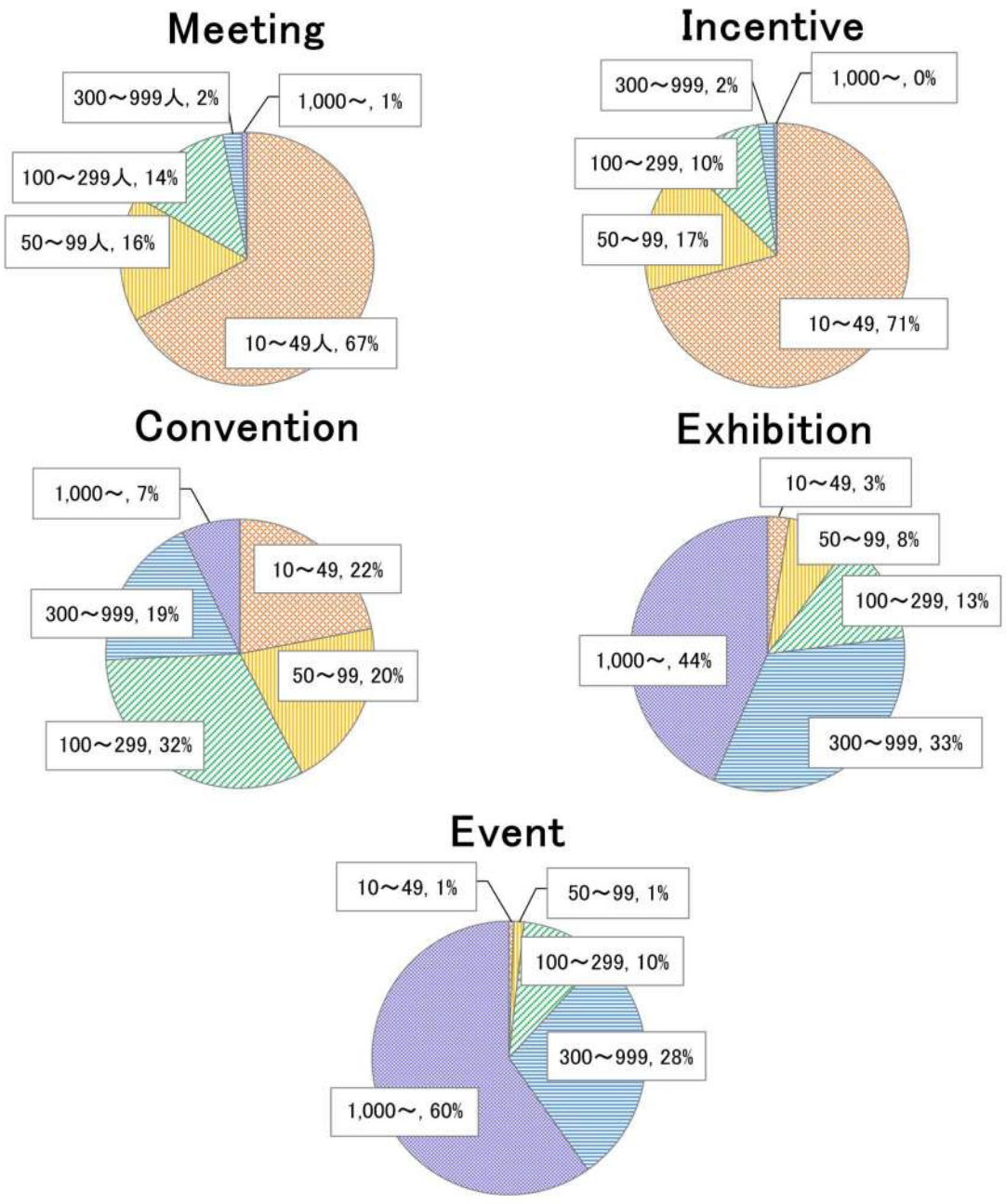
参加者数（人）	10～49		50～99		100～299		300～999		1,000～		計
	件数（前年増減）	構成比	件数（前年増減）	構成比	件数（前年増減）	構成比	件数（前年増減）	構成比	件数（前年増減）	構成比	件数（前年増減）
M	195 (21)	67%	47 (−9)	16%	40 (7)	14%	7 (−8)	2%	2 (−2)	1%	291 (9)
I	1,225 (382)	71%	293 (25)	17%	176 (3)	10%	33 (−6)	2%	6 (0)	0%	1,733 (404)
C	53 (−3)	22%	49 (−3)	20%	77 (7)	32%	45 (0)	19%	17 (7)	7%	241 (8)
Ex	1 (−4)	3%	3 (1)	8%	5 (−4)	13%	13 (6)	33%	17 (9)	44%	39 (8)
Ev	1 (−7)	1%	2 (−5)	1%	17 (−14)	10%	48 (−13)	28%	101 (10)	60%	169 (−29)
計	1,475 (389)	60%	394 (9)	16%	315 (−1)	13%	146 (−21)	6%	143 (24)	6%	2,473 (400)

※構成比は四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合がある。

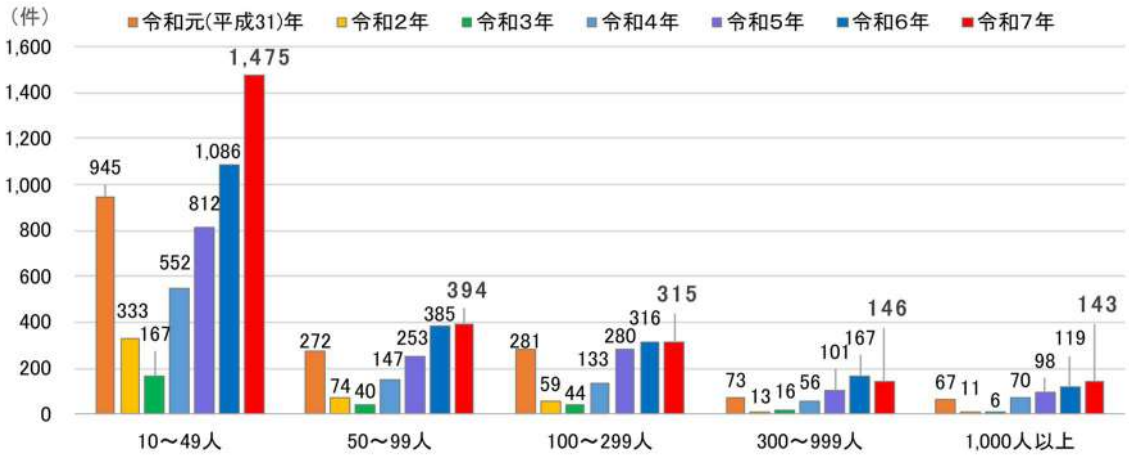
図表10.　　令和７年　規模別開催件数



催事別構成比



図表11.　　規模別開催件数の推移【令和元年～令和７年】



図表12.　　令和７年　規模別開催件数の月別推移

（単位:件）

		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月
10～49 人	件数	1,475	55	75	104	109	79	99	66	40	157	267	340	84
	（%）	60%	4%	5%	7%	7%	5%	7%	4%	3%	11%	18%	23%	6%
50～99 人	件数	394	19	16	23	20	31	36	37	11	25	75	85	16
	（%）	16%	5%	4%	6%	5%	8%	9%	9%	3%	6%	19%	22%	4%
100～299 人	件数	315	8	21	24	31	32	37	23	4	16	46	50	23
	（%）	13%	3%	7%	8%	10%	10%	12%	7%	1%	5%	15%	16%	7%
300～999 人	件数	146	12	11	8	7	13	13	14	7	9	24	17	11
	（%）	6%	8%	8%	5%	5%	9%	9%	10%	5%	6%	16%	12%	8%
1,000 人以上	件数	143	9	16	15	9	12	11	12	6	11	13	19	10
	（%）	6%	6%	11%	10%	6%	8%	8%	8%	4%	8%	9%	13%	7%
合計	件数	2,473	103	139	174	176	167	196	152	68	218	425	511	144
	（%）	100%	4%	6%	7%	7%	7%	8%	6%	3%	9%	17%	21%	6%

図表13.　　令和６年　規模別開催件数の月別推移

（単位:件）

		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月
10～49 人	件数	1,086	65	94	97	99	80	151	102	23	67	123	150	35
	（%）	52%	6%	9%	9%	9%	7%	14%	9%	2%	6%	11%	14%	3%
50～99 人	件数	385	25	34	39	26	31	41	32	3	15	59	59	21
	（%）	19%	6%	9%	10%	7%	8%	11%	8%	1%	4%	15%	15%	5%
100～299 人	件数	316	18	26	23	19	28	47	27	8	26	42	37	15
	（%）	15%	6%	8%	7%	6%	9%	15%	9%	3%	8%	13%	12%	5%
300～999 人	件数	167	10	9	10	21	7	16	18	6	7	19	28	16
	（%）	8%	6%	5%	6%	13%	4%	10%	11%	4%	4%	11%	17%	10%
1,000 人以上	件数	119	9	10	15	6	7	16	12	9	6	12	8	9
	（%）	6%	8%	8%	13%	5%	6%	13%	10%	8%	5%	10%	7%	8%
合計	件数	2,073	126	173	184	172	153	271	191	49	121	255	282	96
	（%）	100%	6%	8%	9%	8%	7%	13%	9%	2%	6%	12%	14%	5%

（２）参加者数 1,000 人以上の開催件数

参加者 1,000 人以上の大規模催事は、令和６年から 24 件増加して 143 件（前年比 120%）で、調査開始以降の最高件数となった。例年特に大きな割合を占めている「Ｅ（Exhibition, Event）」については、調査開始以来最高の 118 件となり、前年から 19 件（前年比 119%）増加するなど、大規模催事全体の増加を牽引している。また、１万人以上を動員したイベントも 16 件開催された。

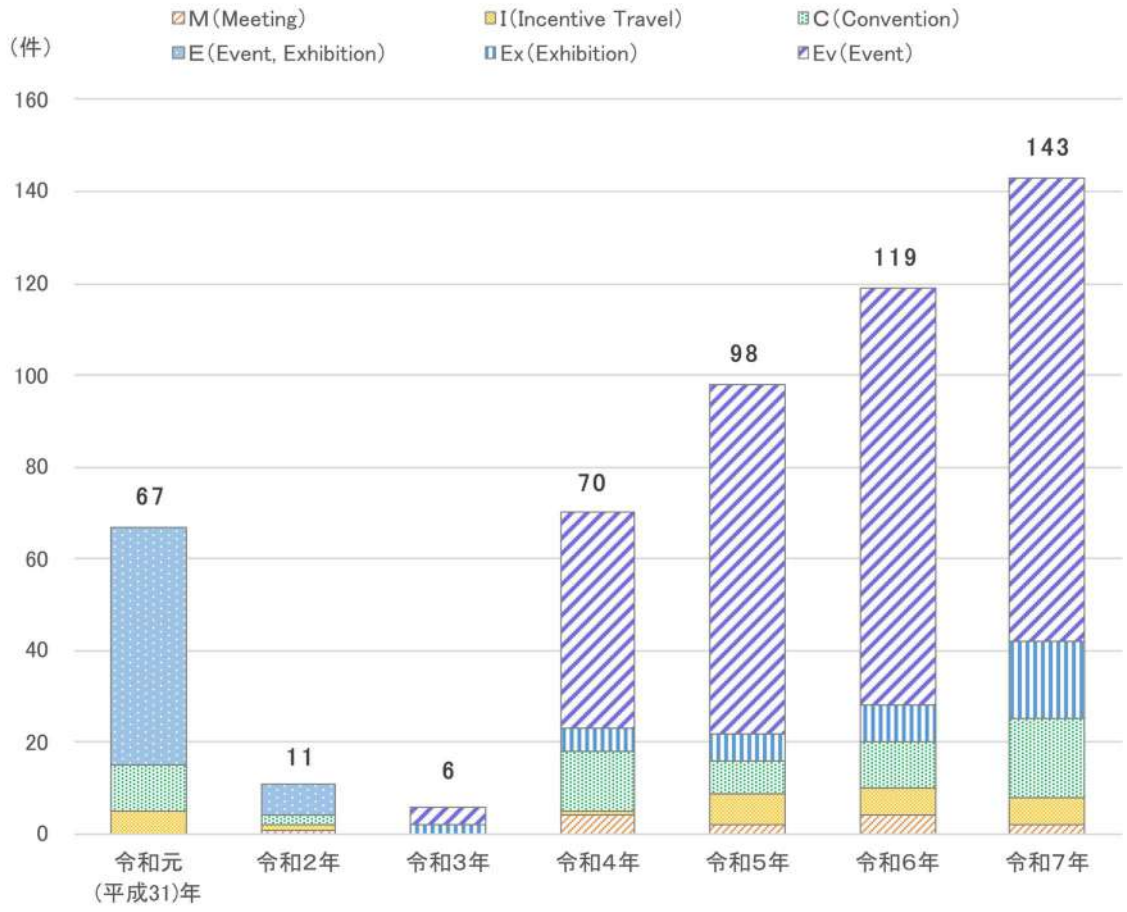
参加者数 1,000 人以上の開催件数が増加した背景には、円安や海外渡航費の上昇を受け、海外での開催を検討していた大型エンターテインメント催事が沖縄を選んだことが一因と考えられる。ヒアリングでは、熱心なファンを持つアーティストのコンサートが増え、県外からも多くの観客を集めているとの声があった。「Ｃ（Convention）」でも 1,000 人以上の催事は前年の 10 件から 17 件に増加しており、学会開催の回復がうかがえる。JNTO が公表した 2025 年の ICCA 統計でも、日本全体の国際会議開催件数は前年比 15%増であった。

図表14.　参加者数 1,000 人以上の開催件数の推移【令和元年～令和７年】

（単位：件）

	令和元（平成 31）年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年		令和7年	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
M（Meeting）	0	0%	1	9%	0	0%	4	6%	2	2%	4	3%	2	1%
I（Incentive Travel）	5	7%	1	9%	0	0%	1	1%	7	7%	6	5%	6	4%
C（Convention）	10	15%	2	18%	0	0%	13	19%	7	7%	10	8%	17	12%
E（Exhibition, Event）	52	78%	7	64%	6	100%	52	74%	82	84%	99	83%	118	83%
Ex（Exhibition）	－	－	－	－	2	33%	5	7%	6	6%	8	7%	17	12%
Ev（Event）	－	－	－	－	4	67%	47	67%	76	78%	91	76%	101	71%
合　計	67		11		6		70		98		119		143	

図表15.　　参加者数 1,000 人以上の開催件数の推移【令和元年～令和７年】



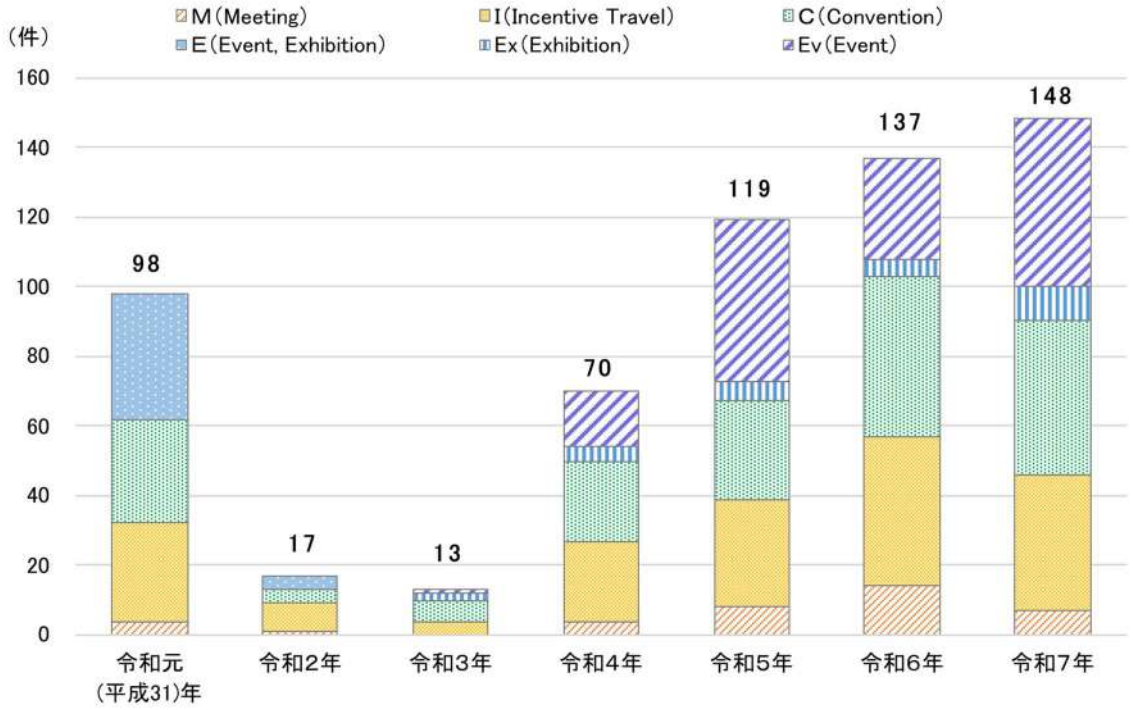
（３）海外及び県外参加者 300 人以上の開催件数

海外及び県外参加者が 300 人以上の催事は 148 件（前年比 108%、11 件増）で調査開始以来最高となっている。催事別に見ると、「M（Meeting）」は７件（前年比 50%、７件減）、「I（Incentive Travel）」は 39 件（前年比 91%、４件減）、「C（Convention）」は 44 件（前年比 96%、２件減）と、それぞれ前年に比べ減少した一方、「Ex（Exhibition）」は 10 件（前年比 200%、５件増）、「Ev（Event）」は 48 件（前年比 166%、19 件増）と、それぞれ前年に比べ増加している。

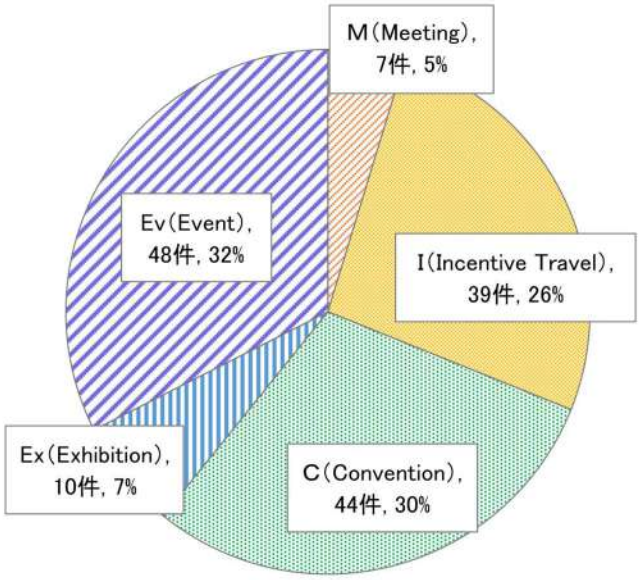
図表16.　海外＋県外参加者 300 人以上催事件数【令和元年～令和７年】

	令和元（平成 31）年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年		令和7年	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
M（Meeting）	4	4%	1	6%	0	0%	4	6%	8	7%	14	10%	7	5%
I（Incentive Travel）	28	29%	8	47%	4	31%	23	33%	31	26%	43	31%	39	26%
C（Convention）	30	31%	4	24%	6	46%	23	33%	28	24%	46	34%	44	30%
E（Exhibition, Event）	36	37%	4	24%	3	23%	20	29%	52	44%	34	25%	58	39%
Ex（Exhibition）	－	－	－	－	2	15%	4	6%	6	5%	5	4%	10	7%
Ev（Event）	－	－	－	－	1	8%	16	23%	46	39%	29	21%	48	32%
合　計	98		17		13		70		119		137		148	

図表17.　海外＋県外参加者 300 人以上催事件数の推移【令和元年～令和７年】



図表18.　　令和７年　海外＋県外参加者 300 人以上催事件数



１－５－３．月別開催実態

（１）月別開催件数

月別開催件数は 11 月が 511 件で最も多く、次いで 10 月が 425 件となった。前年同様、秋季に集中した。両月とも「Ｉ（Incentive Travel）」の開催が多く、10 月は 336 件、11 月は 404 件と、それぞれ全体の約８割を占めた。これは、10 月以降に団体受入れが本格化するとのヒアリング結果とも合致する。MICE は一般観光の繁忙期を避けて開催される傾向があることから、８月は開催件数が減少している。一方で、閑散期に開催される MICE もあり、観光需要の平準化に寄与している。

図表19.　　令和７年　月別開催件数

（単位:件）

		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月
M(Meeting)	件数	291	17	20	25	20	26	34	28	7	21	32	41	20
	(%)	12%	6%	7%	9%	7%	9%	12%	10%	2%	7%	11%	14%	7%
I(Incentive Travel)	件数	1,733	62	80	105	130	105	121	81	39	174	336	404	96
	(%)	70%	4%	5%	6%	8%	6%	7%	5%	2%	10%	19%	23%	6%
C(Convention)	件数	241	9	17	24	11	20	28	25	10	12	31	39	15
	(%)	10%	4%	7%	10%	5%	8%	12%	10%	4%	5%	13%	16%	6%
Ex(Exhibition)	件数	39	1	7	4	2	3	2	2	1	1	7	7	2
	(%)	2%	3%	18%	10%	5%	8%	5%	5%	3%	3%	18%	18%	5%
Ev(Event)	件数	169	14	15	16	13	13	11	16	11	10	19	20	11
	(%)	7%	8%	9%	9%	8%	8%	7%	9%	7%	6%	11%	12%	7%
合計	件数	2,473	103	139	174	176	167	196	152	68	218	425	511	144
	(%)	100.0%	4%	6%	7%	7%	7%	8%	6%	3%	9%	17%	21%	6%
参加者数(人)		1,313,075	144,071	64,274	78,111	91,601	53,046	61,207	49,496	96,298	37,786	442,479	148,376	46,330

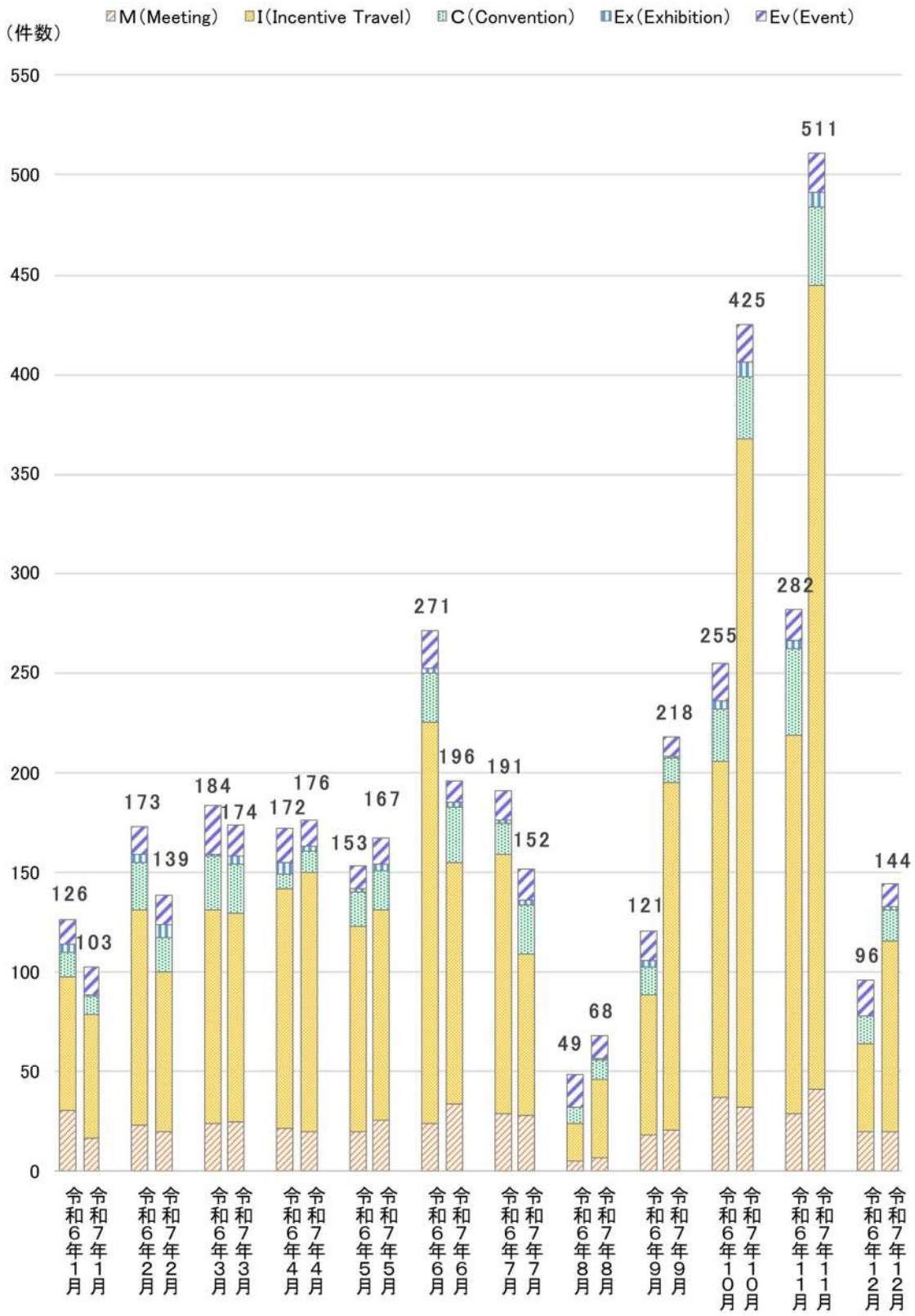
＜参考＞令和６年の月別開催件数

図表20.　　令和６年　月別開催件数

（単位:件）

		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月
M(Meeting)	件数	282	31	23	24	22	20	24	29	5	18	37	29	20
	(%)	14%	11%	8%	9%	8%	7%	9%	10%	2%	6%	13%	10%	7%
I(Incentive Travel)	件数	1,329	67	108	107	120	103	201	130	19	71	169	190	44
	(%)	64%	5%	8%	8%	9%	8%	15%	10%	1%	5%	13%	14%	3%
C(Convention)	件数	233	12	24	27	7	17	25	16	8	14	26	43	14
	(%)	11%	5%	10%	12%	3%	7%	11%	7%	3%	6%	11%	18%	6%
Ex(Exhibition)	件数	31	4	4	1	6	2	2	1	0	3	4	4	0
	(%)	1%	13%	13%	3%	19%	6%	6%	3%	0%	10%	13%	13%	0%
Ev(Event)	件数	198	12	14	25	17	11	19	15	17	15	19	16	18
	(%)	10%	6%	7%	13%	9%	6%	10%	8%	9%	8%	10%	8%	9%
合計	件数	2,073	126	173	184	172	153	271	191	49	121	255	282	96
	(%)	100.0%	6%	8%	9%	8%	7%	13%	9%	2%	6%	12%	14%	5%
参加者数(人)		1,211,156	180,703	40,876	125,587	59,910	19,842	70,966	58,948	41,054	22,723	393,389	150,846	46,312

図表21.　　令和６年及び令和７年　開催件数の月別推移



（2）月別参加者数

令和７年の月別参加者数は 10 月（442,479 人）が突出しており、これは「第 49 回沖縄の産業まつり」や「第 39 回とみぐすく祭り・第 10 回とみぐすく産業フェスタ」などの大規模イベントが開催されたことに大きく起因している。

図表22.　　令和７年　月別参加者数

（単位：MICE 参加者数：人／入域観光客：千人）

		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月
M	人数	21,215	641	776	1,123	1,188	3,681	1,690	1,812	200	2,354	2,175	4,381	1,194
	（%）	2%	3%	4%	5%	6%	17%	8%	9%	1%	11%	10%	21%	6%
I	人数	103,406	4,943	7,422	7,296	8,278	6,943	9,913	7,038	1,819	9,873	17,281	16,588	6,012
	（%）	8%	5%	7%	7%	8%	7%	10%	7%	2%	10%	17%	16%	6%
C	人数	76,030	4,544	2,797	4,842	1,788	13,350	8,573	6,826	1,087	3,180	6,958	12,734	9,351
	（%）	6%	6%	4%	6%	2%	18%	11%	9%	1%	4%	9%	17%	12%
Ex	人数	126,245	1,910	11,551	2,834	1,877	4,764	2,976	970	440	4,346	29,216	57,912	7,449
	（%）	10%	2%	9%	2%	1%	4%	2%	1%	0%	3%	23%	46%	6%
Ev	人数	986,179	132,033	41,728	62,016	78,470	24,308	38,055	32,850	92,752	18,033	386,849	56,761	22,324
	（%）	75%	13%	4%	6%	8%	2%	4%	3%	9%	2%	39%	6%	2%
合計	人数	1,313,075	144,071	64,274	78,111	91,601	53,046	61,207	49,496	96,298	37,786	442,479	148,376	46,330
	（%）	100%	11%	5%	6%	7%	4%	5%	4%	7%	3%	34%	11%	4%
県外・海外参加者数		277,542	22,713	15,481	16,300	38,361	24,685	20,951	18,399	9,773	17,973	40,798	38,393	13,715
入域観光客（単位：千人）		10,756.0	783.4	781.4	912.6	882.6	842.6	838.9	947.6	1,074.9	948.6	986.1	894.5	862.8

※入域観光客数出典：「令和７年入域観光客統計概況」（沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課）

＜参考＞令和６年の月別参加者数

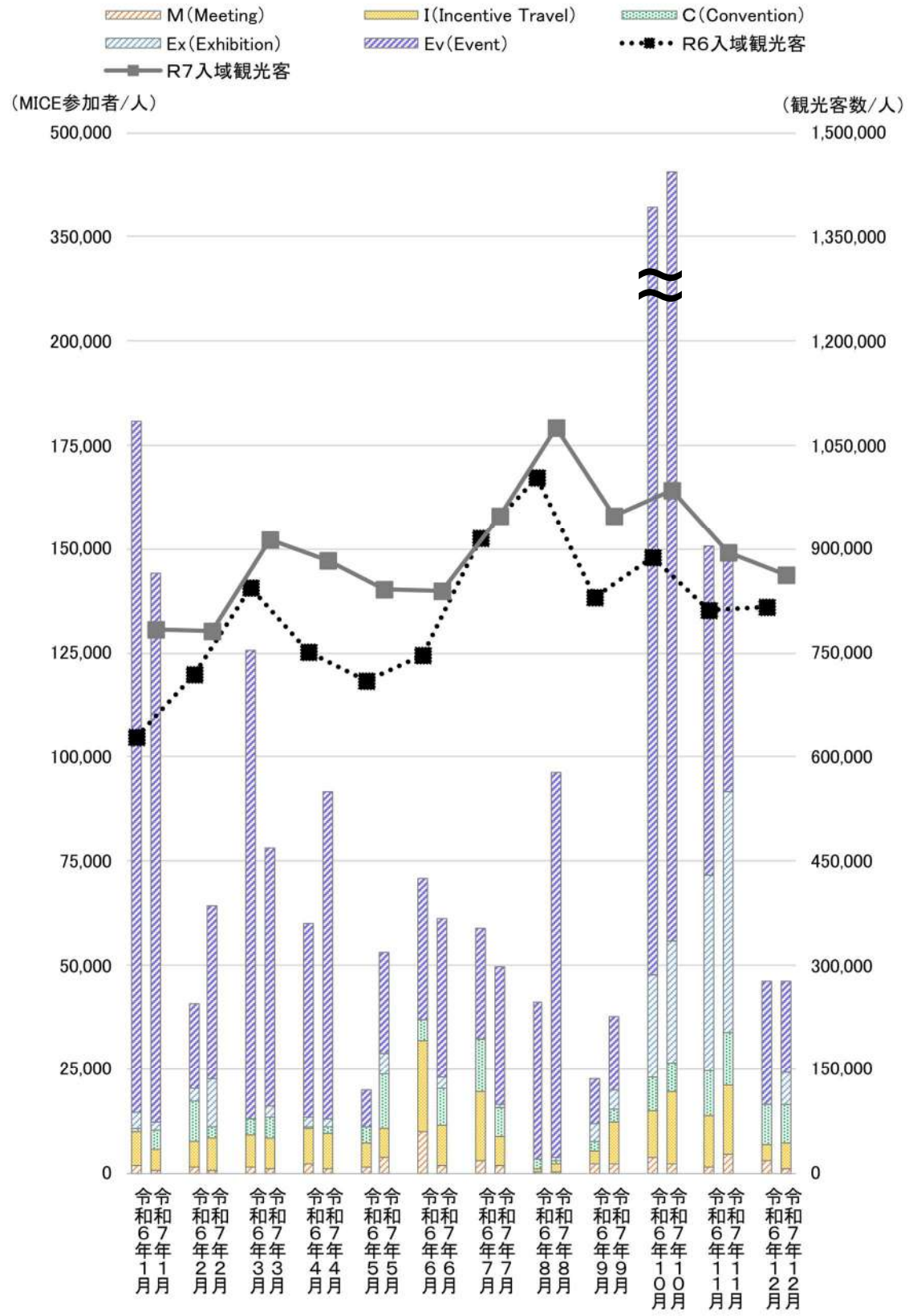
図表23.　　令和６年　月別参加者数

（単位：MICE 参加者数：人／入域観光客：千人）

		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月
M	人数	31,120	1,641	1,327	1,293	2,052	1,330	9,882	3,115	182	2,032	3,657	1,564	3,045
	（%）	3%	5%	4%	4%	7%	4%	32%	10%	1%	7%	12%	5%	10%
I	人数	106,284	8,095	6,230	7,768	8,575	5,949	22,069	16,268	721	3,260	11,264	12,225	3,860
	（%）	9%	8%	6%	7%	8%	6%	21%	15%	1%	3%	11%	12%	4%
C	人数	69,971	927	9,863	3,808	489	3,687	4,845	12,750	2,561	2,421	8,231	10,899	9,490
	（%）	6%	1%	14%	5%	1%	5%	7%	18%	4%	3%	12%	16%	14%
Ex	人数	85,175	3,800	2,794	33	2,250	176	250	300	0	4,170	24,510	46,892	0
	（%）	7%	4%	3%	0%	3%	0%	0%	0%	0%	5%	29%	55%	0%
Ev	人数	918,606	166,240	20,662	112,685	46,544	8,700	33,920	26,515	37,590	10,840	345,727	79,266	29,917
	（%）	76%	18%	2%	12%	5%	1%	4%	3%	4%	1%	38%	9%	3%
合計	人数	1,211,156	180,703	40,876	125,587	59,910	19,842	70,966	58,948	41,054	22,723	393,389	150,846	46,312
	（%）	100%	15%	3%	10%	5%	2%	6%	5%	3%	2%	32%	12%	4%
県外・海外参加者数		263,624	22,785	15,672	22,037	31,654	10,691	37,723	26,293	4,256	7,840	31,956	34,289	18,428
内訳不明参加者数		220	0	9	0	0	0	29	0	0	0	8	0	174
入域観光客（単位：千人）		9,668.8	629.2	719.2	845.1	752.3	710.4	748.0	915.4	1,003.8	830.9	886.9	811.2	816.4

※入域観光客数出典：「令和６年入域観光客統計概況」（沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課）

図表24.　　令和６年及び令和７年　参加者数の月別推移



（３）月別１件当たり平均参加者数

催事１件当たりの参加者数の平均は 531 人（前年比 91%、53 人減）となっている。全体の開催件数は調査開始以来最高となった一方、小規模催事の開催件数が前年比 127%に増加したことにより、１件当たりの平均参加者数は減少したと考えられる。

月平均では８月が最多（1,416 人）で、次いで１月（1,399 人）、10 月（1,041 人）の順となっている。

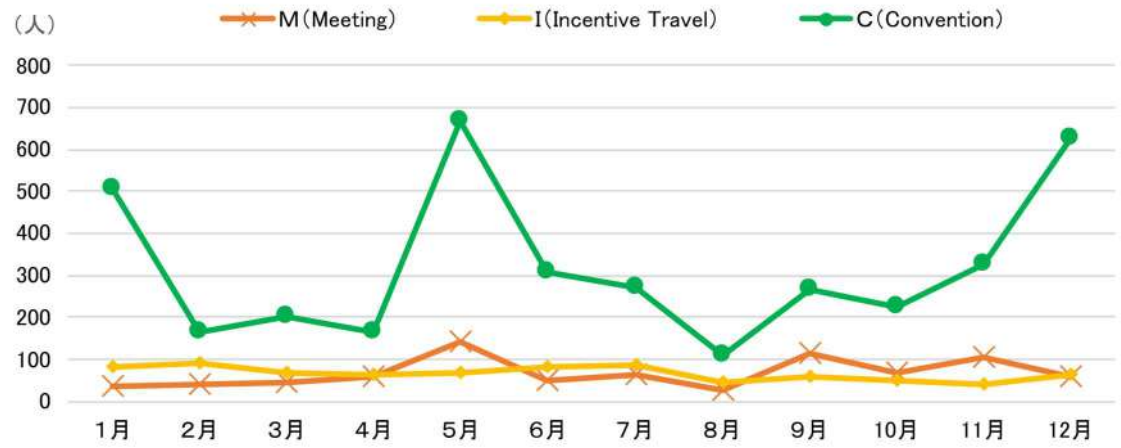
年平均は「Ev（Event）」が 5,835 人と最多で、次いで「Ex（Exhibition）」が 3,237 人である。

図表25.　　令和７年　１件当たり平均参加者数

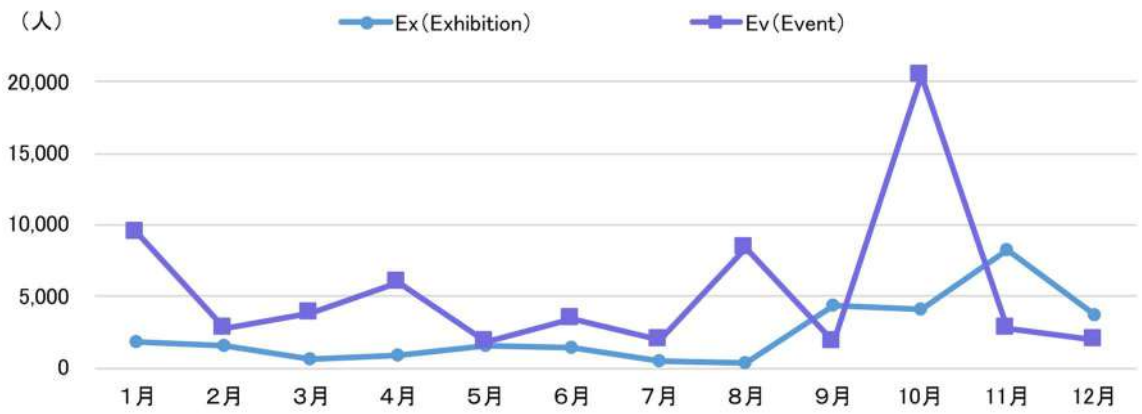
（単位：人）

	年平均	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月
M	73	38	39	45	59	142	50	65	29	112	68	107	60
I	60	80	93	69	64	66	82	87	47	57	51	41	63
C	315	505	165	202	163	668	306	273	109	265	224	327	623
Ex	3,237	1,910	1,650	709	939	1,588	1,488	485	440	4,346	4,174	8,273	3,725
Ev	5,835	9,431	2,782	3,876	6,036	1,870	3,460	2,053	8,432	1,803	20,360	2,838	2,029
全体平均	531	1,399	462	449	520	318	312	326	1,416	173	1,041	290	322

図表26.　　令和７年　月別１件当たり平均参加者数
（Meeting, Incentive Travel, Convention）



図表27.　　令和７年　月別１件当たり平均参加者数（Exhibition, Event）



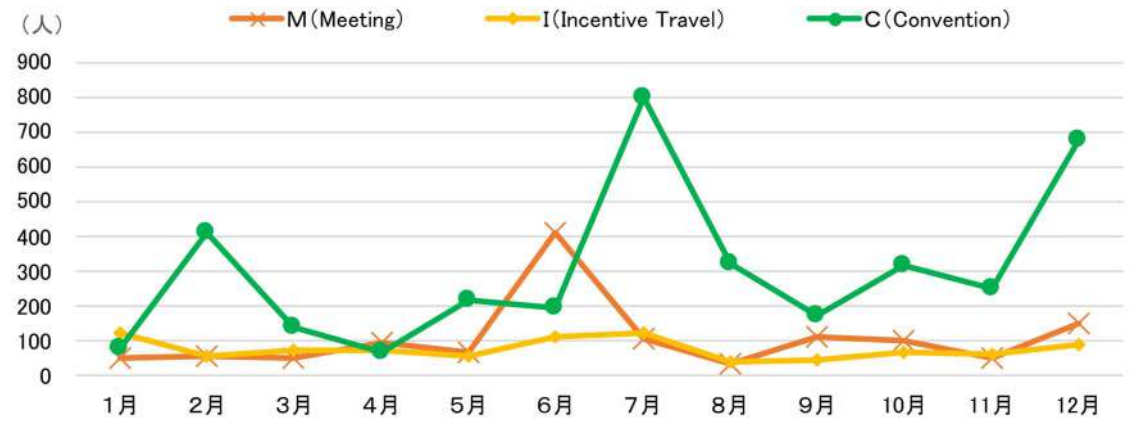
＜参考＞令和６年の月別1件当たり参加者数

図表28.　　令和６年１件当たり参加者平均

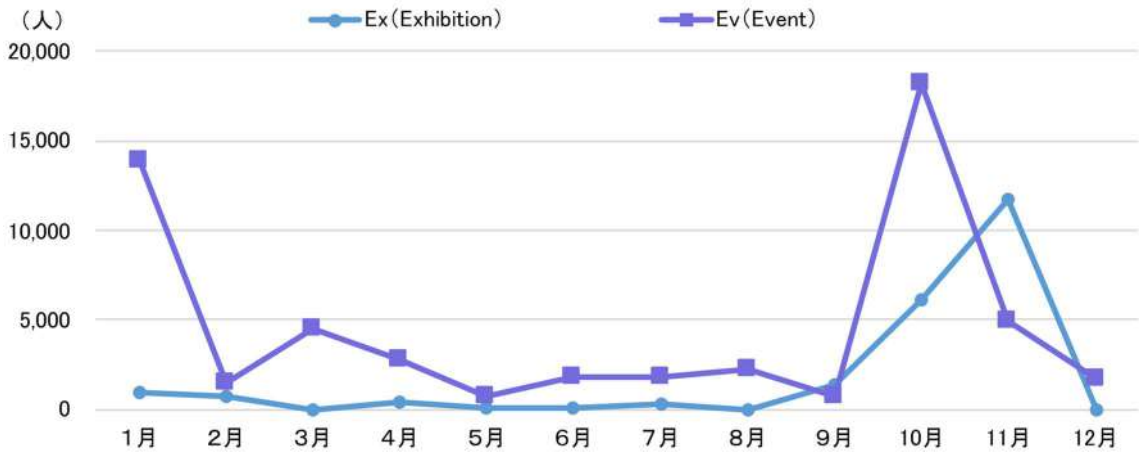
（単位:人）

	年平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月
M	110	53	58	54	93	67	412	107	36	113	99	54	152
I	80	121	58	73	71	58	110	125	38	46	67	64	88
C	300	77	411	141	70	217	194	797	320	173	317	253	678
Ex	2,748	950	699	33	375	88	125	300	0	1,390	6,128	11,723	0
Ev	4,639	13,853	1,476	4,507	2,738	791	1,785	1,768	2,211	723	18,196	4,954	1,662
全体平均	584	1,434	236	683	348	130	262	309	838	188	1,543	535	482

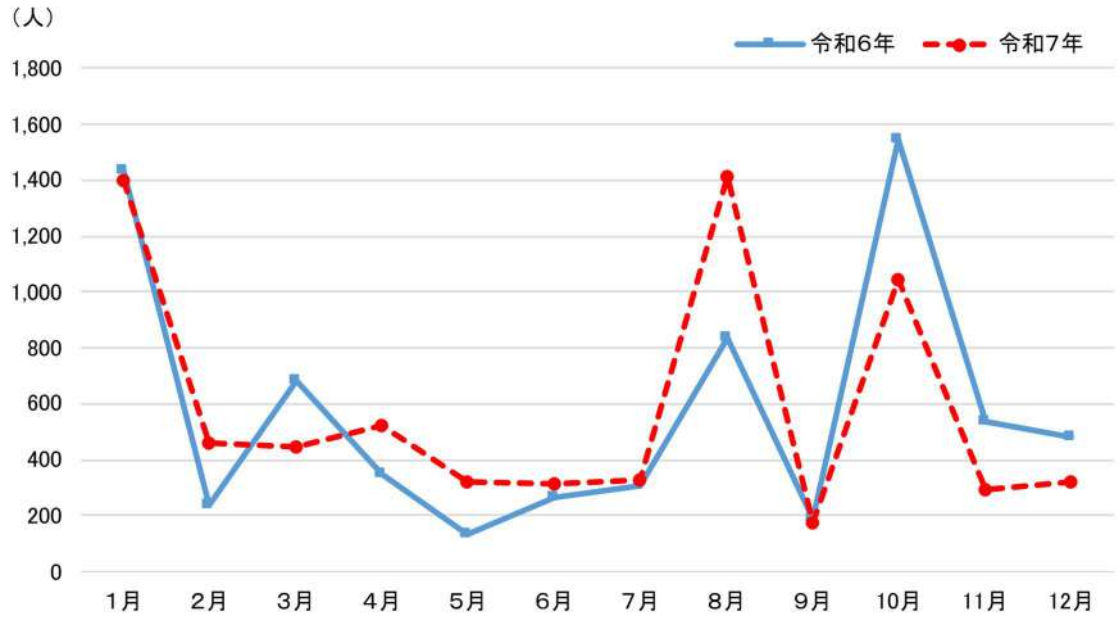
図表29.　　令和６年　月別１件当たり平均参加者数
(Meeting, Incentive Travel, Convention)



図表30.　　令和６年　月別１件当たり平均参加者数（Exhibition, Event）



図表31.　　月別１件当たり参加者数　全体平均　令和６年と令和７年の比較



１－５－４．平均会期日数

（１）平均会期日数

令和７年のMICE催事の平均会期日数は2.90日（前年比112%、0.31日増）となった。催事別では、開催件数の多い「I（Incentive Travel）」が2.75日から3.09日、「M（Meeting）」が2.38日から2.89日へ伸び、全体平均を押し上げたと考えられる。ヒアリングでは、団体旅行にキックオフやセミナー、懇親会を組み込む事例も確認された。海外参加者が最多の催事では平均4.45日で、「M（Meeting）」は7.08日と最も長かった。

地域分布別では、複数地域からの参加催事を最多地域（内訳不明を除く）に分類した。同数の場合、県内・県外では県外、県外・海外では海外に区分した。

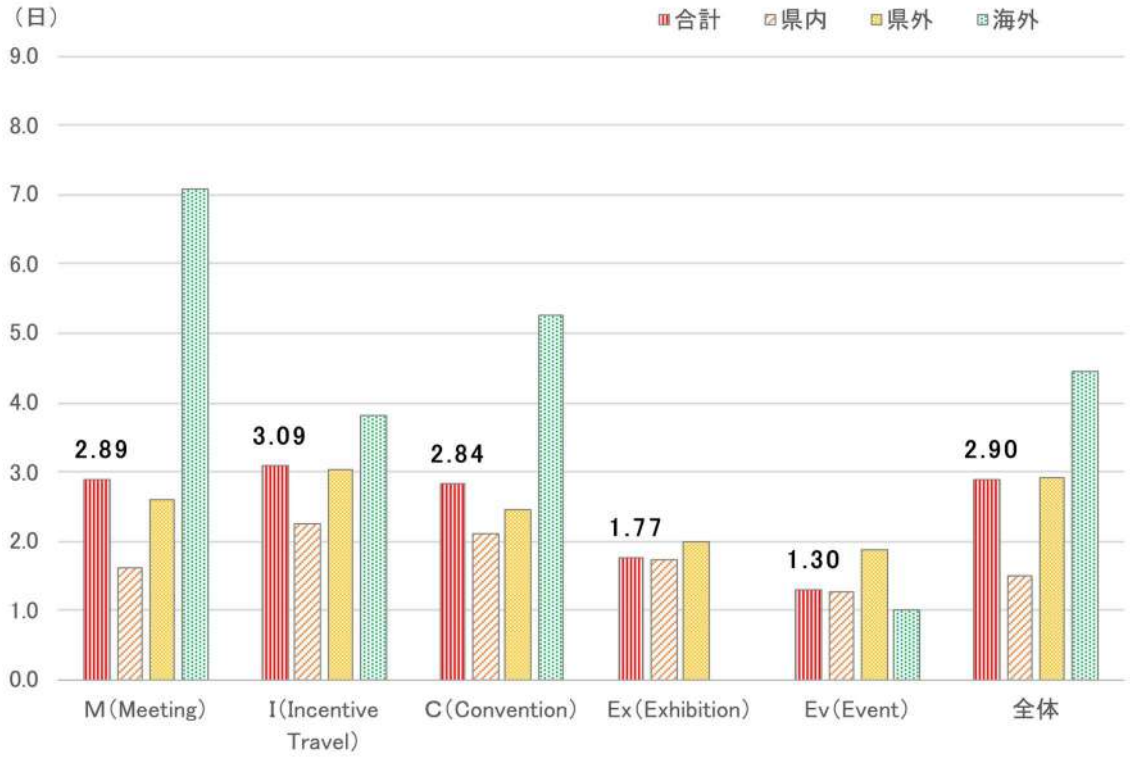
図表32.　　令和７年　参加者の地域分布別　平均会期日数

（単位:日）

	合計	県内	県外	海外
M（Meeting）	2.89	1.63	2.60	7.08
I（Incentive Travel）	3.09	2.25	3.03	3.83
C（Convention）	2.84	2.11	2.46	5.27
Ex（Exhibition）	1.77	1.74	2.00	－
Ev（Event）	1.30	1.27	1.89	1.00
全体	2.90	1.50	2.92	4.45

※本事業における会期日数とは催事日数のみを指しており、前後の滞在は含まないこととする。

図表33.　　令和７年　参加者の地域分布別　平均会期日数

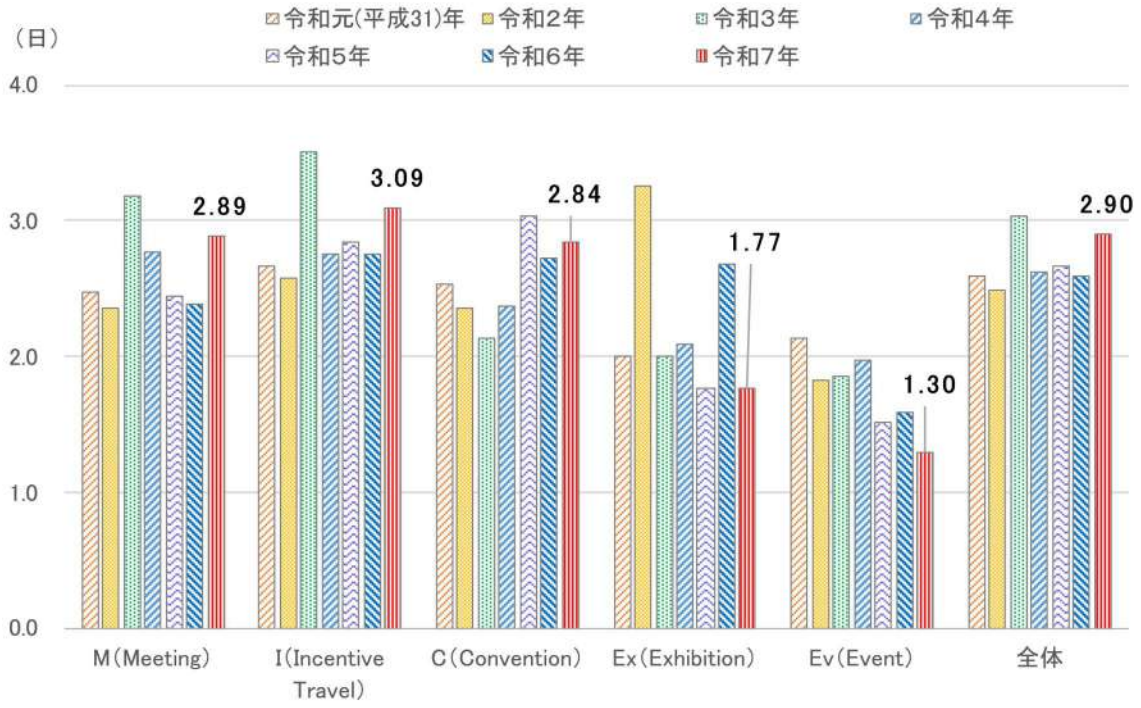


図表34.　　平均会期日数の推移【令和元年～令和７年】

（単位：日）

	令和元（平成 31）年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	令和7年
M（Meeting）	2.47	2.35	3.18	2.77	2.44	2.38	2.89
I（Incentive Travel）	2.67	2.58	3.51	2.75	2.85	2.75	3.09
C（Convention）	2.54	2.35	2.14	2.38	3.03	2.73	2.84
Ex（Exhibition）	2.00	3.25	2.00	2.09	1.76	2.68	1.77
Ev（Event）	2.14	1.83	1.86	1.97	1.52	1.59	1.30
全体	2.60	2.49	3.04	2.62	2.67	2.59	2.90

図表35.　　平均会期日数の推移【令和元年～令和７年】



１－５－５．参加者区分別開催実態

（１）参加者の地域分布

令和７年に開催された MICE 催事の参加者数は合計で 1,313,075 人（前年比 108%、101,919 人増）となっている。このうち、県外参加者は 245,841 人（前年比 107%、16,788 人増）、海外参加者は 31,701 人（前年比 92%、2,870 人減）となっている。

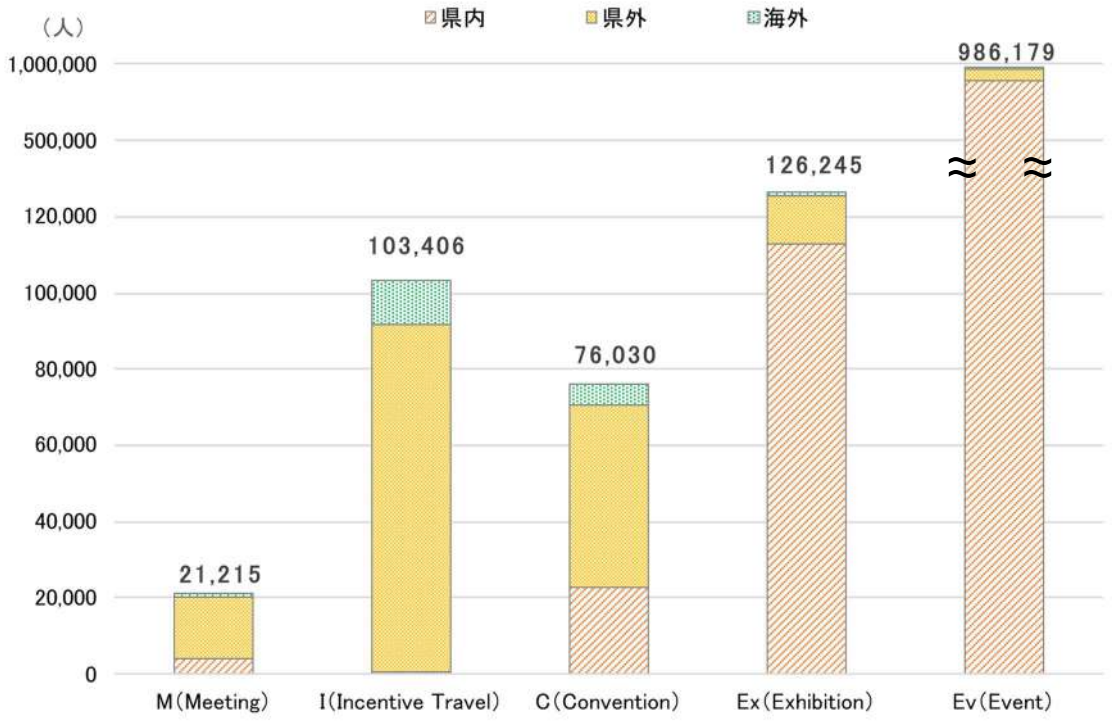
催事別で見ると、「I（Incentive Travel）」の海外参加者は 11,621 人で全体の 11%を占め、令和６年に比べ前年比 145%、3,626 人増と大幅に増加した。これは海外主催者の催事が複数開催されたことに起因している。

図表36.　　令和７年　参加者の地域分布

（単位：人）

		合計	県内	県外	海外
M（Meeting）	人数	21,215	3,968	16,408	839
	（%）	100%	19%	77%	4%
I（Incentive Travel）	人数	103,406	387	91,398	11,621
	（%）	100%	0%	88%	11%
C（Convention）	人数	76,030	22,445	48,200	5,385
	（%）	100%	30%	63%	7%
Ex（Exhibition）	人数	126,245	112,867	12,551	827
	（%）	100%	89%	10%	1%
Ev（Event）	人数	986,179	895,866	77,284	13,029
	（%）	100%	91%	8%	1%
合計	人数	1,313,075	1,035,533	245,841	31,701
	（%）	100%	79%	19%	2%

図表37.　　令和７年　参加者の地域分布



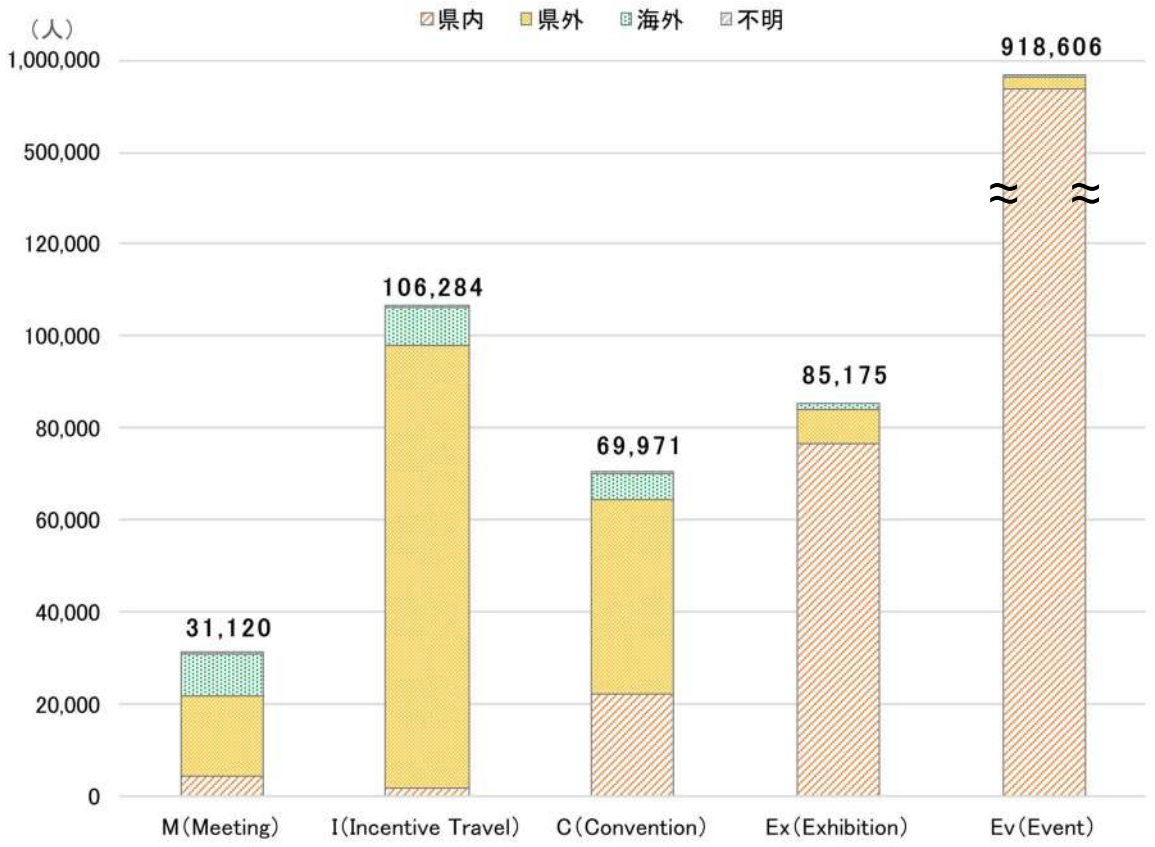
＜参考＞令和6年　参加者の地域分布

図表38.　　令和６年　参加者の地域分布

（単位：人）

		合計	県内	県外	海外	不明
M（Meeting）	人数	31,120	4,579	17,088	9,409	44
	（%）	100%	15%	55%	30%	0%
I（Incentive Travel）	人数	106,284	1,895	96,220	7,995	174
	（%）	100%	2%	91%	8%	0%
C（Convention）	人数	69,971	22,441	42,099	5,429	2
	（%）	100%	32%	60%	8%	0%
Ex（Exhibition）	人数	85,175	76,849	7,222	1,104	0
	（%）	100%	90%	8%	1%	0%
Ev（Event）	人数	918,606	841,548	66,424	10,634	0
	（%）	100%	92%	7%	1%	0%
合計	人数	1,211,156	947,312	229,053	34,571	220
	（%）	100%	78%	19%	3%	0%

図表39.　　令和６年　参加者の地域分布



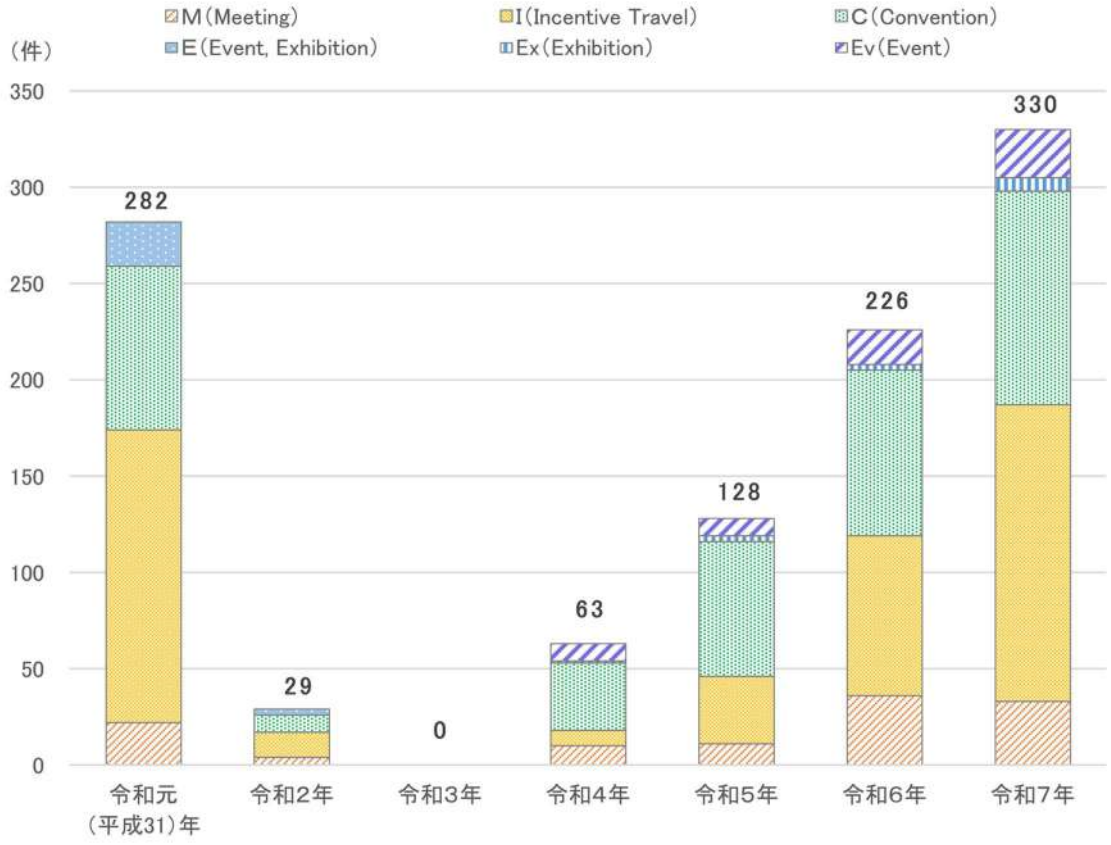
（２）海外参加者を伴う催事の開催件数

令和７年において、海外からの参加があった催事は 330 件（前年比 146%）となり、令和元（平成 31）年を上回って調査開始以来最多となった。

図表40.　　海外参加者を伴う催事の開催件数【令和元年～令和７年】

	令和元（平成31）年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年		令和7年		
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	（前年比）
M（Meeting）	22	8%	4	14%	0	0%	10	16%	11	9%	36	16%	33	10%	−3
I（Incentive Travel）	152	54%	13	45%	0	0%	8	13%	35	27%	83	37%	154	47%	71
C（Convention）	85	30%	9	31%	0	0%	35	56%	70	55%	86	38%	111	34%	25
E（Exhibition, Event）	23	8%	3	10%	0	0%	10	16%	12	9%	21	9%	32	10%	11
Ex（Exhibition）	−	−	−	−	−	−	1	2%	3	2%	3	1%	7	2%	4
Ev（Event）	−	−	−	−	−	−	9	14%	9	7%	18	8%	25	8%	7
合計	282		29		0		63		128		226		330		
（参考）件数（海外から参加があった催事の割合）	1,638		490		273		958		1,544		2,073		2,473		
	（17%）		（6%）		（0%）		（7%）		（8%）		（11%）		（13%）		

図表41.　　海外参加者を伴う催事の開催件数推移【令和元年～令和７年】



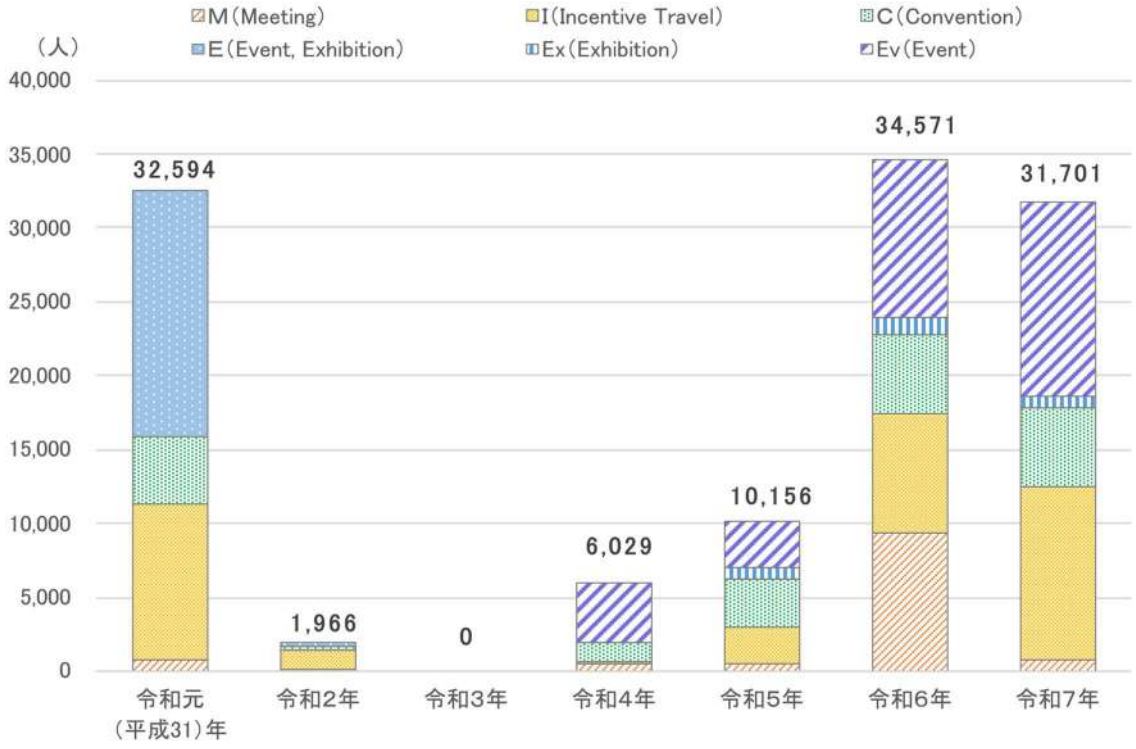
（３）海外参加者数の推移

令和７年において、海外からの参加者数は 31,701 人（前年比 92%、2,870 人減）であった。催事別では、「Ｉ（Incentive Travel）」が前年に比べ特に増加し、11,621 人となり、令和元年を上回って調査開始以来最高人数となった。

図表42.　　海外参加者数【令和元年～令和７年】

	令和元（平成 31）年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年		令和7年		
	参加者数	割合	参加者数	割合	参加者数	割合	参加者数	割合	参加者数	割合	参加者数	割合	参加者数	割合	（前年比）
M（Meeting）	722	2%	101	5%	0	0%	504	8%	579	6%	9,409	27%	839	3%	−8,570
I（Incentive Travel）	10,576	32%	1,371	70%	0	0%	190	3%	2,370	23%	7,995	23%	11,621	37%	3,626
C（Convention）	4,523	14%	257	13%	0	0%	1,194	20%	3,252	32%	5,429	16%	5,385	17%	−44
E（Exhibition, Event）	16,773	51%	237	12%	0	0%	4,141	69%	3,955	39%	11,738	34%	13,856	44%	2,118
Ex（Exhibition）	−	−	−	−	−	−	32	1%	810	8%	1,104	3%	827	3%	−277
Ev（Event）	−	−	−	−	−	−	4,109	68%	3,145	31%	10,634	31%	13,029	41%	2,395
合計	32,594		1,966		0		6,029		10,156		34,571		31,701		
（参考）人数	786,967		86,064		80,818		597,481		944,422		1,211,156		1,313,075		
（海外参加者数の割合）	（4%）		（2%）		（0%）		（1%）		（1%）		（3%）		（2%）		

図表43.　　海外参加者数の推移【令和元年～令和７年】



１－５－６．その他区分別の開催実態

（１）産業別開催件数・参加者数

本項では開催件数及び参加者数について、「Ｍ(Meeting)」、「Ｉ(Incentive Travel)」、「Ex(Exhibition)」、「Ev(Event)」は日本標準産業分類(中分類)に準じ、「Ｃ(Convention)」については日本政府観光局（JNTO）の発行する「国際会議統計」における会議分類に準じた分類により区分けを行っている。

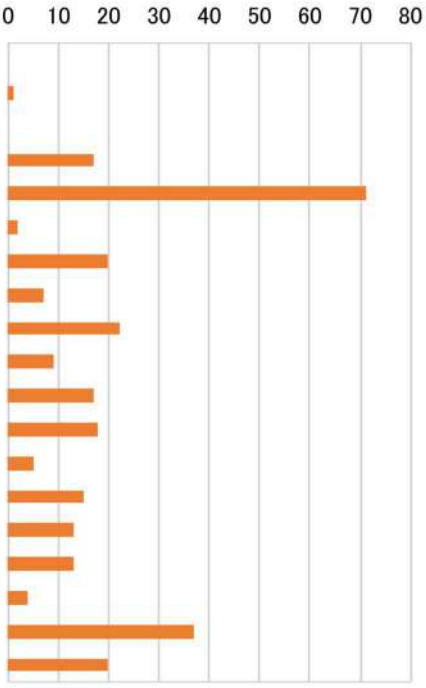
催事別の結果は、次ページ以降に整理する。

「M（Meeting）」では、「E）製造業」が開催件数・参加者数ともに最多で、開催件数は 71 件（前年比 309%、48 件増）、参加者数は 6,184 人（同 80%、1,550 人減）であった。１件当たりの参加者数は前年の 336 人から 87 人に減少しており、開催件数の増加とともに小規模化が進んだ。

図表44.　令和７年産業別開催件数・参加者数【Meeting】

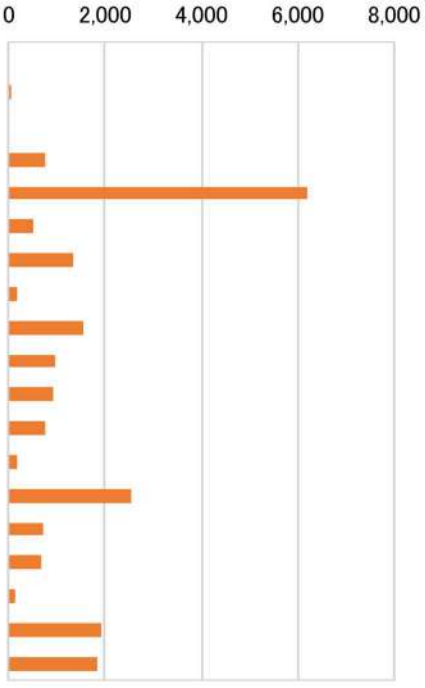
M（Meeting）

産業分類	件数（件）	
	令和6年	令和7年
A)農業、林業	1	0
B)漁業	0	1
C)鉱業、採石業、砂利採取業	0	0
D)建設業	14	17
E)製造業	23	71
F)電気・ガス・熱供給・水道業	4	2
G)情報通信業	27	20
H)運輸業、郵便業	11	7
I)卸売業、小売業	13	22
J)金融業、保険業	15	9
K)不動産業、物品賃貸業	1	17
L)学術研究、専門・技術サービス業	23	18
M)宿泊業、飲食サービス業	11	5
N)生活関連サービス業、娯楽業	28	15
O)教育、学習支援業	15	13
P)医療、福祉	19	13
Q)複合サービス事業	5	4
R)サービス業（他に分類されないもの）	63	37
S)公務（他に分類されるものを除く）	9	20
合計	282	291



M（Meeting）

産業分類	参加者数（人）	
	令和6年	令和7年
A)農業、林業	33	0
B)漁業	0	48
C)鉱業、採石業、砂利採取業	0	0
D)建設業	822	737
E)製造業	7,734	6,184
F)電気・ガス・熱供給・水道業	368	516
G)情報通信業	1,905	1,350
H)運輸業、郵便業	1,124	187
I)卸売業、小売業	1,130	1,561
J)金融業、保険業	2,900	972
K)不動産業、物品賃貸業	45	901
L)学術研究、専門・技術サービス業	907	745
M)宿泊業、飲食サービス業	582	190
N)生活関連サービス業、娯楽業	3,140	2,549
O)教育、学習支援業	762	712
P)医療、福祉	1,455	677
Q)複合サービス事業	225	134
R)サービス業（他に分類されないもの）	6,741	1,899
S)公務（他に分類されるものを除く）	1,247	1,853
合計	31,120	21,215

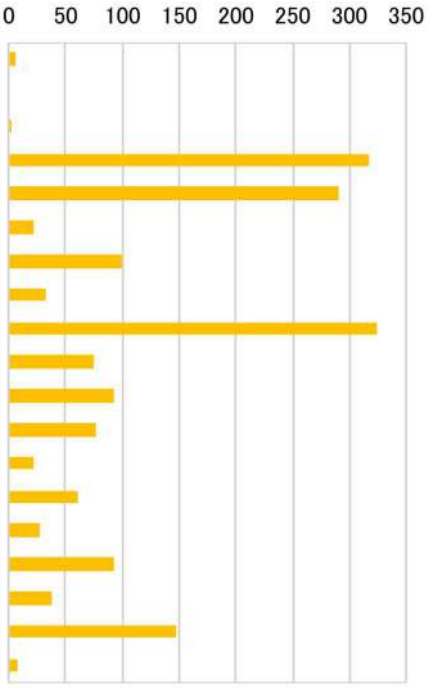


「Ｉ（Incentive Travel）」では、「Ｉ）卸売業、小売業」「Ｄ）建設業」「Ｅ）製造業」が開催件数・参加者数ともに上位３位を占め、３業種で全体の 54%を占めた。ヒアリングでは、メーカーによる販売店・代理店の報奨旅行や自動車販売店の表彰旅行が確認された。また、大阪・関西万博に伴う建設需要等を背景に、建設業の団体旅行が増加したとの声も聞かれた。これらから、当該３業種を中心に報奨・団体旅行の需要がみられる。

図表45.　令和７年産業別開催件数・参加者数【Incentive Travel】

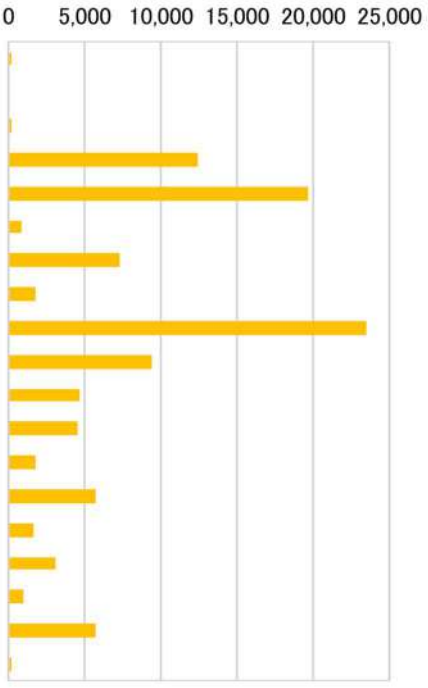
I(Incentive Travel)

産業分類	件数(件)	
	令和6年	令和7年
A)農業、林業	11	5
B)漁業	0	0
C)鉱業、採石業、砂利採取業	3	3
D)建設業	217	318
E)製造業	244	291
F)電気・ガス・熱供給・水道業	44	22
G)情報通信業	73	99
H)運輸業、郵便業	26	33
I)卸売業、小売業	225	325
J)金融業、保険業	61	75
K)不動産業、物品賃貸業	58	93
L)学術研究、専門・技術サービス業	41	76
M)宿泊業、飲食サービス業	17	22
N)生活関連サービス業、娯楽業	54	60
O)教育、学習支援業	10	27
P)医療、福祉	66	92
Q)複合サービス事業	35	37
R)サービス業(他に分類されないもの)	138	148
S)公務(他に分類されるものを除く)	6	7
合計	1,329	1,733



I(Incentive Travel)

産業分類	参加者数(人)	
	令和6年	令和7年
A)農業、林業	344	83
B)漁業	0	0
C)鉱業、採石業、砂利採取業	90	91
D)建設業	9,896	12,398
E)製造業	21,892	19,706
F)電気・ガス・熱供給・水道業	2,108	884
G)情報通信業	7,152	7,282
H)運輸業、郵便業	1,163	1,785
I)卸売業、小売業	20,699	23,495
J)金融業、保険業	19,830	9,378
K)不動産業、物品賃貸業	4,075	4,683
L)学術研究、専門・技術サービス業	2,496	4,557
M)宿泊業、飲食サービス業	842	1,793
N)生活関連サービス業、娯楽業	4,035	5,703
O)教育、学習支援業	387	1,597
P)医療、福祉	3,515	3,099
Q)複合サービス事業	1,545	984
R)サービス業(他に分類されないもの)	5,873	5,713
S)公務(他に分類されるものを除く)	342	175
合計	106,284	103,406

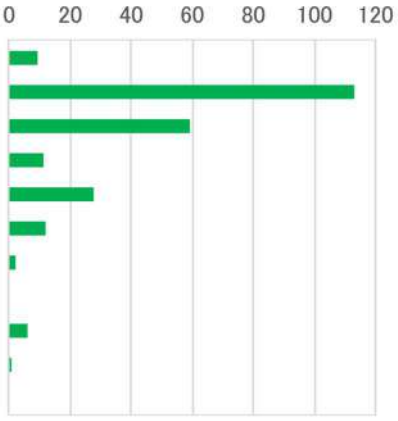


「C（Convention）」では、「２）科学・技術・自然」と「３）医学」が開催件数・参加者数ともに上位を占め、２分野の合計は 172 件（全体の 71%）、43,392 人（同 57%）であった。JNTO の 2024 年国際会議統計でも、この２分野は全国の開催件数の 72.9%を占めており、科学・技術・自然分野と医学分野に開催が集中する傾向は共通している。

図表46.　令和７年産業別開催件数・参加者数【Convention】

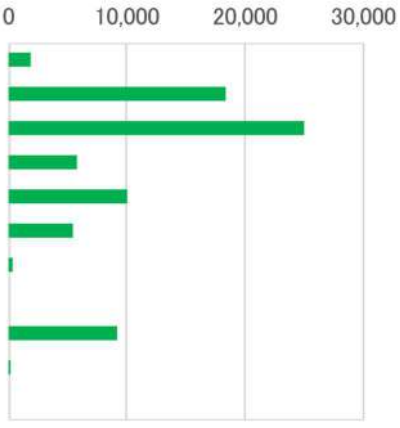
C（Convention）

会議分野	件数（件）	
	令和6年	令和7年
1)政治・経済・法律	16	9
2)科学・技術・自然	118	113
3)医学	47	59
4)産業	6	11
5)芸術・文化・教育	23	28
6)社会	5	12
7)運輸・観光	0	2
8)社交・親善	7	0
9)宗教	2	6
10)スポーツ　※セミナーや講演会などがある場合	3	1
11)その他	6	0
合計	233	241



C（Convention）

会議分野	参加者数（人）	
	令和6年	令和7年
1)政治・経済・法律	2,549	1,900
2)科学・技術・自然	23,514	18,348
3)医学	22,727	25,044
4)産業	1,180	5,786
5)芸術・文化・教育	5,834	10,101
6)社会	763	5,365
7)運輸・観光	0	291
8)社交・親善	934	0
9)宗教	9,410	9,157
10)スポーツ　※セミナーや講演会などがある場合	900	38
11)その他	2,160	0
合計	69,971	76,030

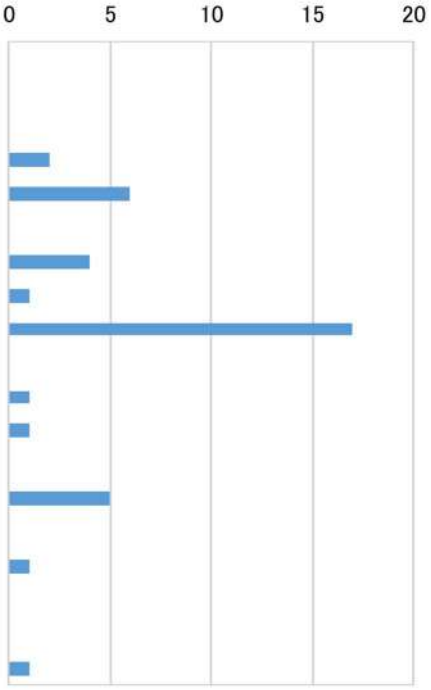


「Ex（Exhibition）」では、開催件数は「Ｉ）卸売業、小売業」が最多で、参加者数は21,749人（前年比216%）に増加した。参加者数は「N）生活関連サービス業、娯楽業」が43,012人で最多となり、「G）情報通信業」と合わせて全体の67%を占めた。前年に引き続き、この２業種が参加者数の大きな割合を占める結果となった。

図表47.　令和７年産業別開催件数・参加者数【Exhibition】

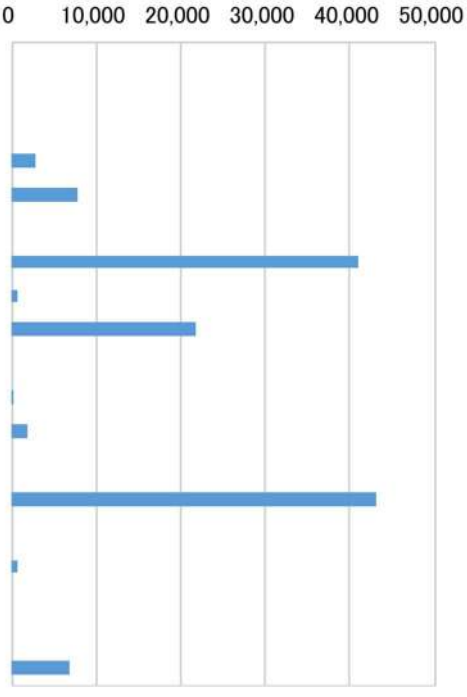
Ex（Exhibition）

産業分類	件数（件）	
	令和6年	令和7年
A)農業、林業	0	0
B)漁業	0	0
C)鉱業、採石業、砂利採取業	0	0
D)建設業	0	2
E)製造業	7	6
F)電気・ガス・熱供給・水道業	0	0
G)情報通信業	3	4
H)運輸業、郵便業	0	1
I)卸売業、小売業	17	17
J)金融業、保険業	0	0
K)不動産業、物品賃貸業	0	1
L)学術研究、専門・技術サービス業	0	1
M)宿泊業、飲食サービス業	1	0
N)生活関連サービス業、娯楽業	2	5
O)教育、学習支援業	0	0
P)医療、福祉	0	1
Q)複合サービス事業	1	0
R)サービス業（他に分類されないもの）	0	0
S)公務（他に分類されるものを除く）	0	1
合計	31	39



Ex（Exhibition）

産業分類	参加者数（人）	
	令和6年	令和7年
A)農業、林業	0	0
B)漁業	0	0
C)鉱業、採石業、砂利採取業	0	0
D)建設業	0	2,815
E)製造業	5,715	7,709
F)電気・ガス・熱供給・水道業	0	0
G)情報通信業	40,928	40,967
H)運輸業、郵便業	0	699
I)卸売業、小売業	10,052	21,749
J)金融業、保険業	0	0
K)不動産業、物品賃貸業	0	144
L)学術研究、専門・技術サービス業	0	1,800
M)宿泊業、飲食サービス業	400	0
N)生活関連サービス業、娯楽業	28,020	43,012
O)教育、学習支援業	0	0
P)医療、福祉	0	600
Q)複合サービス事業	60	0
R)サービス業（他に分類されないもの）	0	0
S)公務（他に分類されるものを除く）	0	6,750
合計	85,175	126,245



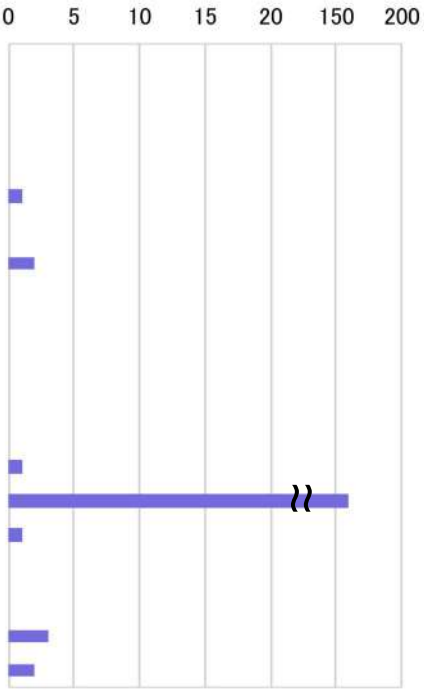
「Ev（Event）」では、「N）生活関連サービス業、娯楽業」が 159 件で開催件数の 94%を占めた。参加者数も同業種と「E）製造業」で 99%を占め、製造業は 1 件の大規模催事が大きく影響した。ヒアリングでは、県外客を集めるコンサートの増加が、娯楽分野の参加者数が多い一因との声が聞かれた。

一部催事の産業分類を精査し、「サービス業（他に分類されないもの）」から「製造業」に変更したため、前年比較には留意が必要である。

図表48.　令和７年産業別開催件数・参加者数【Event】

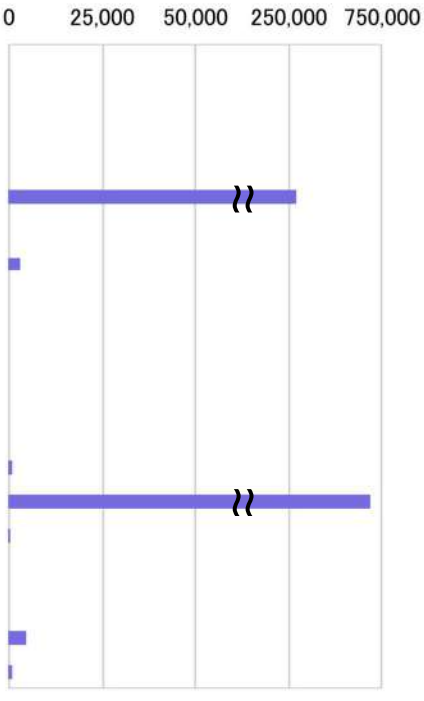
Ev（Event）

産業分類	件数（件）	
	令和6年	令和7年
A)農業、林業	0	0
B)漁業	0	0
C)鉱業、採石業、砂利採取業	0	0
D)建設業	0	0
E)製造業	1	1
F)電気・ガス・熱供給・水道業	0	0
G)情報通信業	3	2
H)運輸業、郵便業	0	0
I)卸売業、小売業	2	0
J)金融業、保険業	0	0
K)不動産業、物品賃貸業	0	0
L)学術研究、専門・技術サービス業	0	0
M)宿泊業、飲食サービス業	1	1
N)生活関連サービス業、娯楽業	171	159
O)教育、学習支援業	5	1
P)医療、福祉	2	0
Q)複合サービス事業	0	0
R)サービス業（他に分類されないもの）	12	3
S)公務（他に分類されるものを除く）	1	2
合計	198	169



Ev（Event）

産業分類	参加者数（人）	
	令和6年	令和7年
A)農業、林業	0	0
B)漁業	0	0
C)鉱業、採石業、砂利採取業	0	0
D)建設業	0	0
E)製造業	2,000	286,900
F)電気・ガス・熱供給・水道業	0	0
G)情報通信業	274	2,831
H)運輸業、郵便業	0	0
I)卸売業、小売業	1,820	0
J)金融業、保険業	0	0
K)不動産業、物品賃貸業	0	0
L)学術研究、専門・技術サービス業	0	0
M)宿泊業、飲食サービス業	65,000	1,000
N)生活関連サービス業、娯楽業	542,721	689,844
O)教育、学習支援業	1,724	440
P)医療、福祉	800	0
Q)複合サービス事業	0	0
R)サービス業（他に分類されないもの）	304,243	4,374
S)公務（他に分類されるものを除く）	24	790
合計	918,606	986,179



（2）参加者の主な出発地

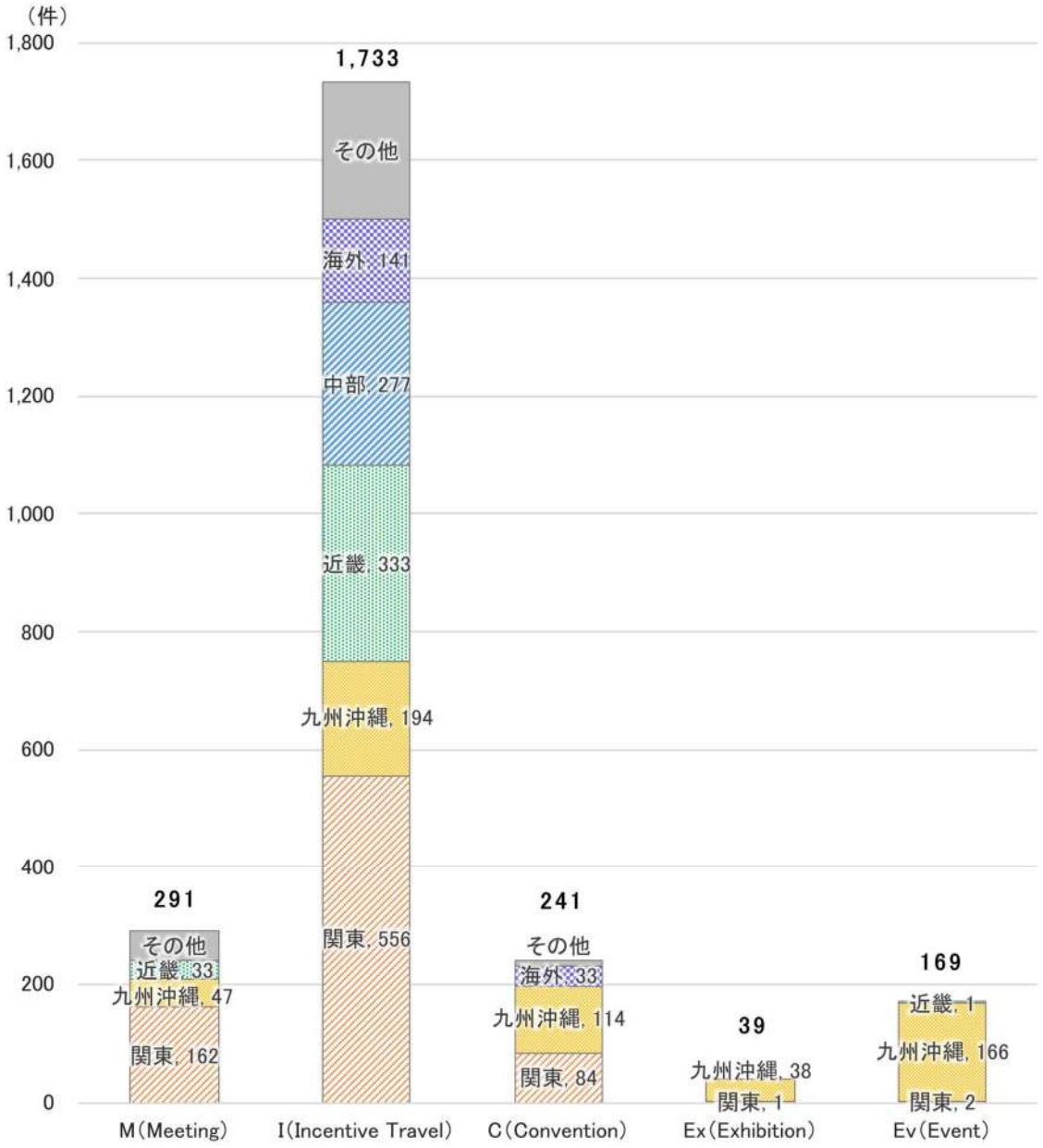
参加者の主な出発地は、東京都が 619 件で最多となり、沖縄県（340 件）、大阪府（206 件）が続いた。「I （Incentive Travel）」では、東京都が 394 件（前年比 112%、41 件増）、大阪府が 186 件（同 118%、29 件増）となり、愛知県や福岡県でも前年を上回ったほか、全都道府県からの来訪が確認された。中部地方を出発地とする催事も 302 件（前年比 134%）に増加しており、ヒアリングで評価された沖縄の海や自然は、団体旅行の行き先を選ぶ際の魅力の一つと考えられる。また、海外を主な出発地とする催事は 194 件（前年比 163%）で、台湾 77 件、韓国 38 件、中国 35 件と東アジアからの案件が多かった。ヒアリングでは東京・大阪の営業担当者による全国的な営業活動も確認されており、国内各地からの案件獲得を支える一因と考えられる。

図表49.　令和７年 参加者出発地別開催件数

	都道府県	地方	開催件数		M (Meeting)	I (Incentive Travel)	C (Convention)	Ex (Exhibition)	Ev (Event)
			件数	前年比					
1	東京都	関東	619	108%	146	394	76	1	2
2	沖縄県	九州沖縄	340	99%	30	3	103	38	166
3	大阪府	近畿	206	114%	17	186	2	0	1
4	愛知県	中部	145	123%	11	131	3	0	0
5	福岡県	九州沖縄	132	147%	13	112	7	0	0
6	台湾	海外	77	367%	3	69	5	0	0
7	兵庫県	近畿	69	216%	3	66	0	0	0
8	神奈川県	関東	61	115%	7	48	6	0	0
9	北海道	北海道	60	83%	0	60	0	0	0
10	静岡県	中部	43	205%	7	36	0	0	0
11	埼玉県	関東	40	118%	3	37	0	0	0
12	韓国	海外	38	109%	3	27	8	0	0
13	中国	海外	35	167%	4	25	6	0	0
14	千葉県	関東	35	106%	3	31	1	0	0
15	広島県	中国	33	110%	3	30	0	0	0
16	京都府	近畿	32	145%	5	26	1	0	0
17	岐阜県	中部	32	139%	1	31	0	0	0
18	三重県	近畿	28	200%	5	23	0	0	0
19	茨城県	関東	25	139%	1	23	1	0	0
20	宮城県	東北	20	100%	1	19	0	0	0
21	岡山県	中国	20	100%	0	20	0	0	0
22	熊本県	九州沖縄	20	125%	1	19	0	0	0
23	石川県	中部	18	200%	0	18	0	0	0
24	新潟県	中部	18	150%	1	17	0	0	0
25	山口県	中国	18	257%	0	18	0	0	0
26	滋賀県	近畿	17	243%	1	16	0	0	0
27	長野県	中部	17	170%	1	16	0	0	0
28	群馬県	関東	17	131%	1	16	0	0	0
29	鹿児島県	九州沖縄	16	160%	2	13	1	0	0
30	富山県	中部	14	78%	0	14	0	0	0
31	大分県	九州沖縄	14	100%	0	14	0	0	0
32	アメリカ	海外	13	118%	2	0	11	0	0
33	長崎県	九州沖縄	13	260%	0	12	1	0	0
34	宮崎県	九州沖縄	13	163%	1	11	1	0	0
35	香川県	四国	12	100%	1	10	1	0	0
36	和歌山県	近畿	11	79%	1	9	1	0	0
37	秋田県	東北	11	550%	0	11	0	0	0
38	佐賀県	九州沖縄	11	275%	0	10	1	0	0
39	福井県	中部	10	111%	0	10	0	0	0
40	福島県	東北	10	125%	1	9	0	0	0
41	奈良県	近畿	9	75%	1	7	1	0	0
42	栃木県	関東	8	62%	1	7	0	0	0
43	徳島県	四国	8	267%	0	7	1	0	0
44	香港	海外	8	89%	1	7	0	0	0
45	愛媛県	四国	8	62%	0	8	0	0	0
46	青森県	東北	8	73%	0	8	0	0	0
47	島根県	中国	8	400%	1	7	0	0	0
48	高知県	四国	7	175%	0	7	0	0	0

	都道府県	地方	開催件数		M (Meeting)	I (Incentive Travel)	C (Convention)	Ex (Exhibition)	Ev (Event)
			件数	前年比					
49	山形県	東北	7	140%	0	7	0	0	0
50	岩手県	東北	7	88%	0	7	0	0	0
51	シンガポール	海外	5	83%	2	3	0	0	0
52	タイ	海外	5	125%	1	4	0	0	0
53	山梨県	中部	5	100%	1	4	0	0	0
54	鳥取県	中国	4	100%	0	4	0	0	0
55	オーストラリア	海外	3	100%	0	3	0	0	0
56	ドイツ	海外	2	200%	1	0	1	0	0
57	ブラジル	海外	2	−	1	1	0	0	0
58	オーストリア	海外	1	−	0	0	1	0	0
59	マレーシア	海外	1	100%	0	1	0	0	0
60	イギリス	海外	1	25%	0	0	1	0	0
61	ベルギー	海外	1	−	0	1	0	0	0
62	マダガスカル	海外	1	−	1	0	0	0	0
63	コロンビア	海外	1	−	1	0	0	0	0
	合計		2,473	119%	291	1,733	241	39	169

図表50.　　令和７年 参加者出発地別開催件数



（3）エリア別・市町村別開催件数

エリア別開催件数は、本島北部が 1,077 件で最も多く、次いで本島南部が 810 件となった。市町村別では今帰仁村が 575 件と最多で、那覇市（514 件）、名護市・恩納村（各 238 件）が続いた。今帰仁村では「I（Incentive Travel）」が 566 件を占め、令和 7 年 7 月に開業したテーマパークへの社員旅行等の訪問増加が、開催件数の増加に寄与したものと考えられる。全体の上位 6 市町村は「I（Incentive Travel）」の開催件数でも上位 6 市町村を占めており、各地の開催件数には同催事の動向が大きく反映されている。一方、宜野湾市では「Ex（Exhibition）」が 24 件、「Ev（Event）」が 34 件と、「I（Incentive Travel）」の 13 件を上回り、催事構成に違いがみられる。

図表51.　令和７年　エリア別開催件数

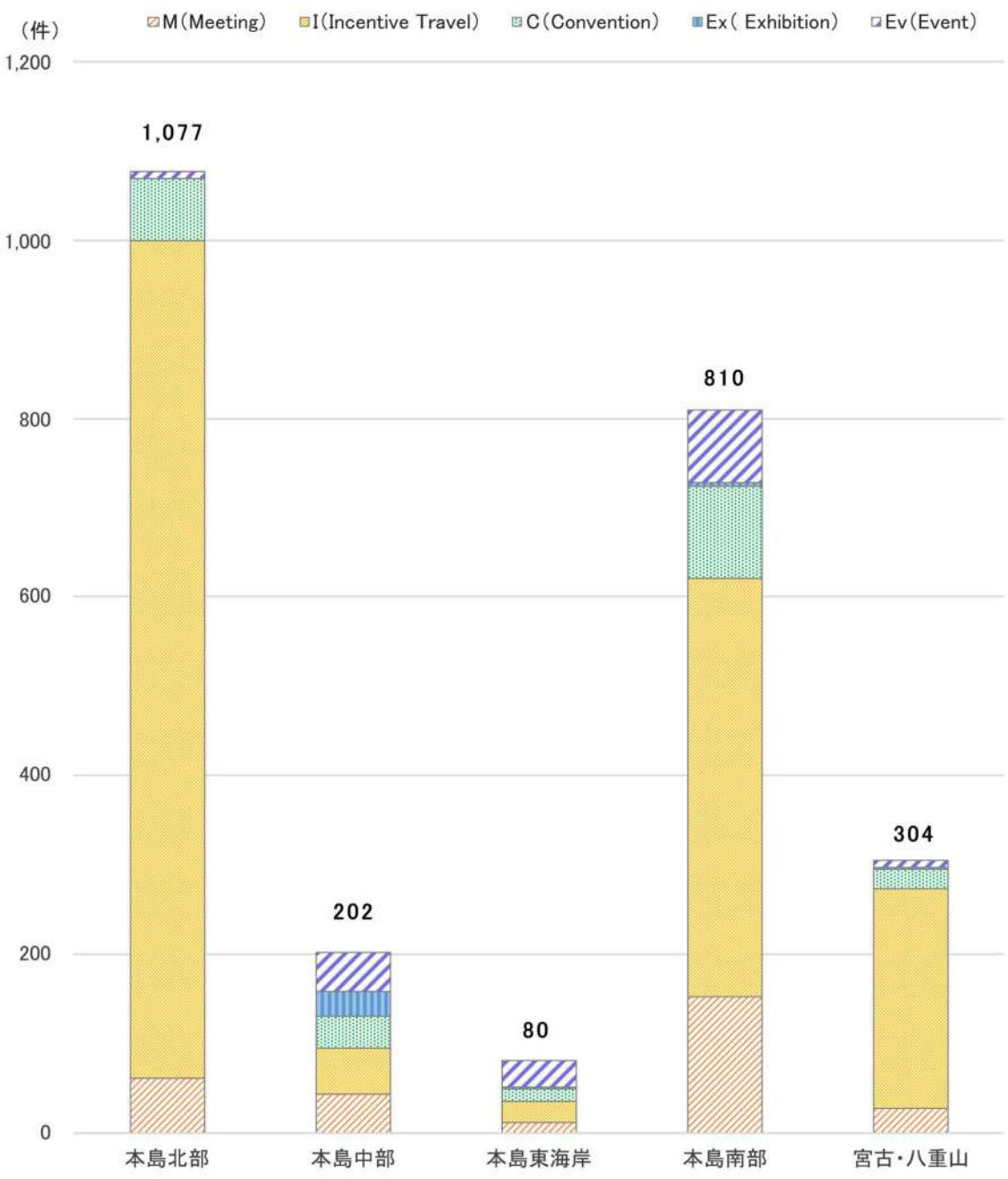
（単位：件）

エリア区分	件数	M（Meeting）	I(Incentive Travel)	C（Convention）	Ex（Exhibition）	Ev（Event）
本島北部	1,077	61	939	69	1	7
本島中部	202	42	53	35	28	44
本島東海岸	80	11	23	14	3	29
本島南部	810	151	471	102	5	81
宮古・八重山	304	26	247	21	2	8
計	2,473	291	1,733	241	39	169

図表52.　エリア区分一覧

本島北部		本島中部	本島東海岸	本島南部		宮古・八重山
名護市	宜野座村	宜野湾市	沖縄市	那覇市	渡嘉敷村	宮古島市
国頭村	金武町	浦添市	うるま市	糸満市	座間味村	多良間村
大宜味村	伊江村	読谷村	南城市	豊見城市	粟国村	石垣市
東村	伊平屋村	嘉手納町	北中城村	南風原町	渡名喜村	竹富町
今帰仁村	伊是名村	北谷町	中城村	八重瀬町	南大東村	与那国町
本部町			西原町	久米島町	北大東村	
恩納村			与那原町			

図表53.　　令和７年 エリア別開催件数

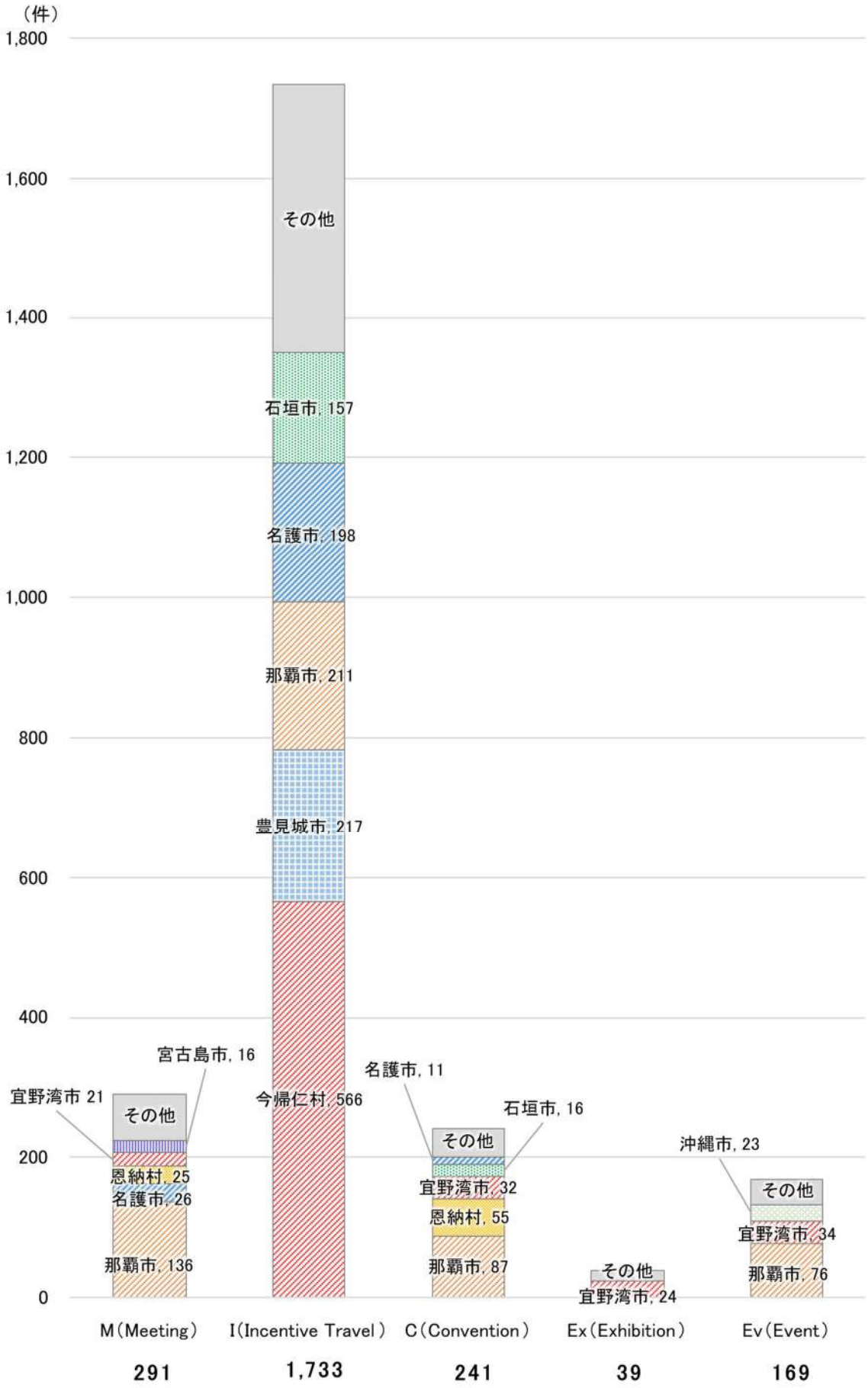


図表54.　　令和７年　市町村別開催件数

（単位：件）

	市町村名	開催件数		M（Meeting）	I（Incentive Travel）	C（Convention）	Ex（Exhibition）	Ev（Event）
		件数	前年比					
1	今帰仁村	575	57,500%	9	566	0	0	0
2	那覇市	514	84%	136	211	87	4	76
3	名護市	238	100%	26	198	11	0	3
4	恩納村	238	81%	25	156	55	1	1
5	豊見城市	228	556%	7	217	1	0	3
6	石垣市	186	72%	10	157	16	0	3
7	宜野湾市	124	110%	21	13	32	24	34
8	宮古島市	117	81%	16	90	5	2	4
9	糸満市	55	63%	5	43	6	0	1
10	沖縄市	43	81%	3	9	5	3	23
11	読谷村	39	118%	9	29	1	0	0
12	浦添市	22	147%	7	2	1	4	8
13	南城市	20	83%	4	11	1	0	4
14	本部町	18	27%	1	14	2	0	1
15	北谷町	17	36%	5	9	1	0	2
16	西原町	11	220%	1	2	8	0	0
17	久米島町	11	110%	3	0	6	1	1
18	うるま市	4	31%	1	1	0	0	2
19	伊江村	4	80%	0	3	0	0	1
20	南風原町	2	100%	0	0	2	0	0
21	宜野座村	2	40%	0	2	0	0	0
22	北中城村	2	67%	2	0	0	0	0
23	大宜味村	1	100%	0	0	0	0	1
24	竹富町	1	－	0	0	0	0	1
25	金武町	1	－	0	0	1	0	0
	合計	2,473	119%	291	1,733	241	39	169

図表55.　　令和７年 催事別 市町村別 開催件数



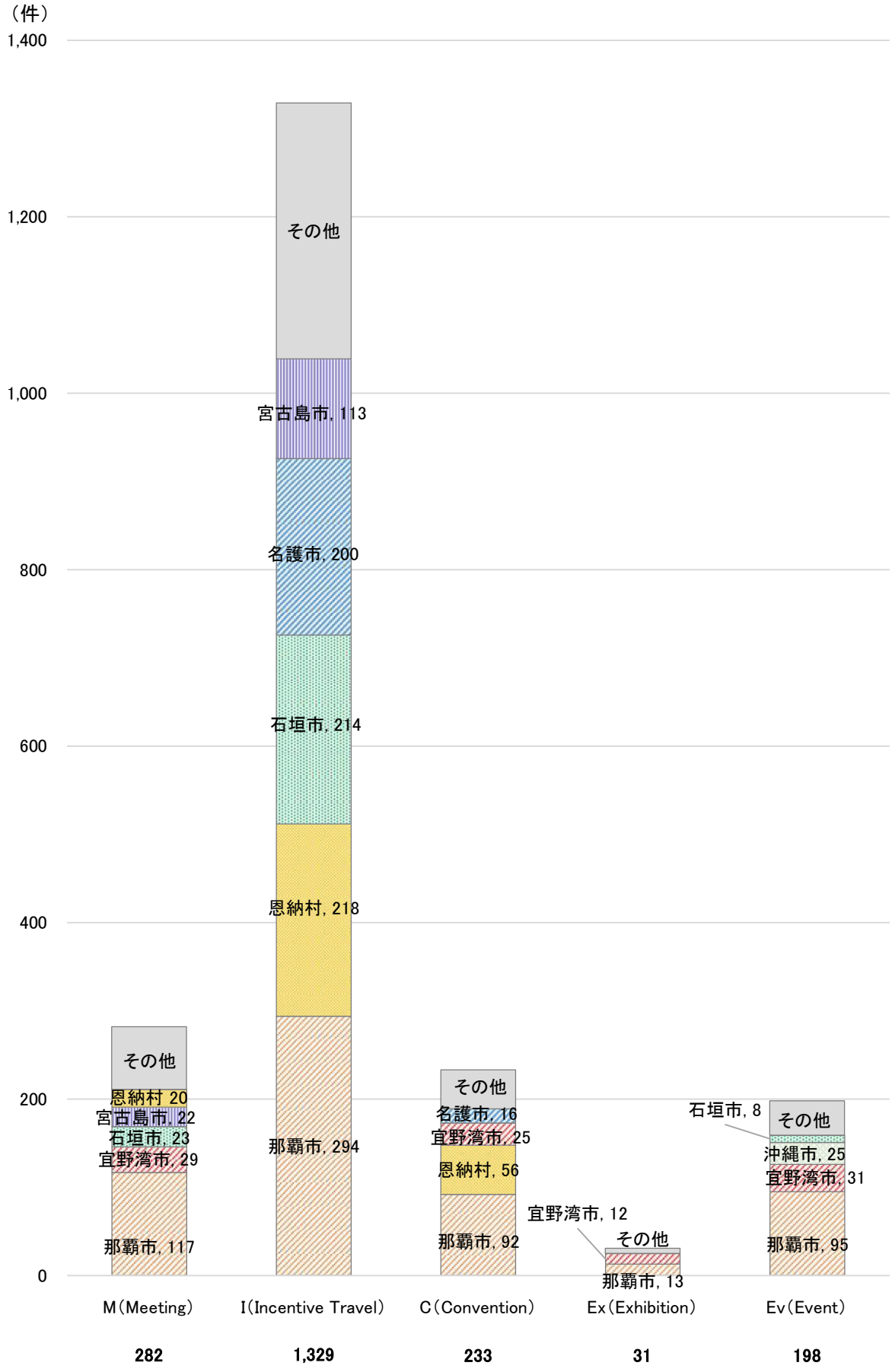
＜参考＞令和6年　市町村別開催件数

図表56.　　令和６年　市町村別開催件数

（単位:件）

	市町村名	件数	M（Meeting）	I（Incentive Travel）	C（Convention）	Ex（Exhibition）	Ev（Event）
1	那覇市	611	117	294	92	13	95
2	恩納村	294	20	218	56	0	0
3	石垣市	258	23	214	13	0	8
4	名護市	239	18	200	16	2	3
5	宮古島市	144	22	113	5	0	4
6	宜野湾市	113	29	16	25	12	31
7	糸満市	88	5	72	4	0	7
8	本部町	66	2	60	2	0	2
9	沖縄市	53	6	19	1	2	25
10	北谷町	47	3	41	1	0	2
11	豊見城市	41	0	37	0	0	4
12	読谷村	33	11	19	1	0	2
13	南城市	24	5	15	1	0	3
14	浦添市	15	0	2	5	2	6
15	うるま市	13	11	1	0	0	1
16	久米島町	10	5	0	4	0	1
17	宜野座村	5	1	2	0	0	2
18	西原町	5	0	0	5	0	0
19	伊江村	5	0	5	0	0	0
20	北中城村	3	3	0	0	0	0
21	南風原町	2	0	0	2	0	0
22	大宜味村	1	0	0	0	0	1
23	嘉手納町	1	0	0	0	0	1
24	与那国町	1	1	0	0	0	0
25	今帰仁村	1	0	1	0	0	0
	合計	2,073	282	1,329	233	31	198

図表57.　　令和６年 催事別 市町村別 開催件数



（4）エリア別・市町村別参加者数

エリア別参加者数は、本島南部が 729,101 人（全体比 56%）と最多で、次いで本島中部の 265,374 人（20%）、本島東海岸の 208,474 人（16%）となっている。これは、前年同様の並びであり、３エリアで 92%を占めている。

市町村別参加者数は、那覇市が 584,342 人と最多で、次いで宜野湾市の 251,331 人、沖縄市の 198,143 人の順となっている。

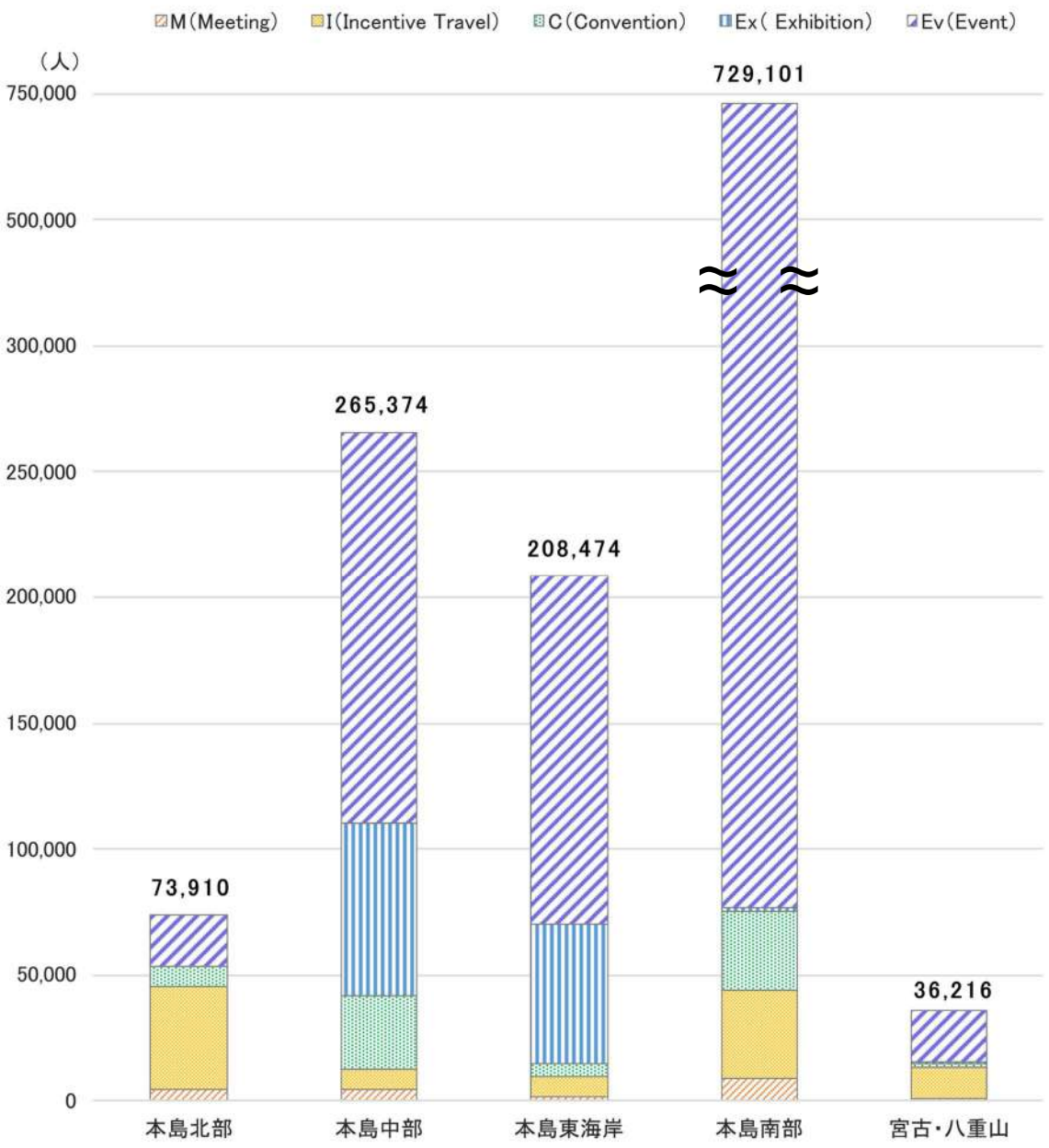
図表58.　令和７年　エリア別参加者数

（単位：人）

エリア区分	参加者数	M（Meeting）	I（Incentive Travel）	C（Convention）	Ex（Exhibition）	Ev（Event）
本島北部	73,910	4,448	41,053	8,035	50	20,324
本島中部	265,374	4,533	8,258	29,300	68,309	154,974
本島東海岸	208,474	1,702	7,647	5,587	55,501	138,037
本島南部	729,101	9,265	34,641	31,250	1,465	652,480
宮古・八重山	36,216	1,267	11,807	1,858	920	20,364
計	1,313,075	21,215	103,406	76,030	126,245	986,179

※エリア区分については、図表 52（35 ページ）を参照。

図表59.　　令和７年 エリア別参加者数

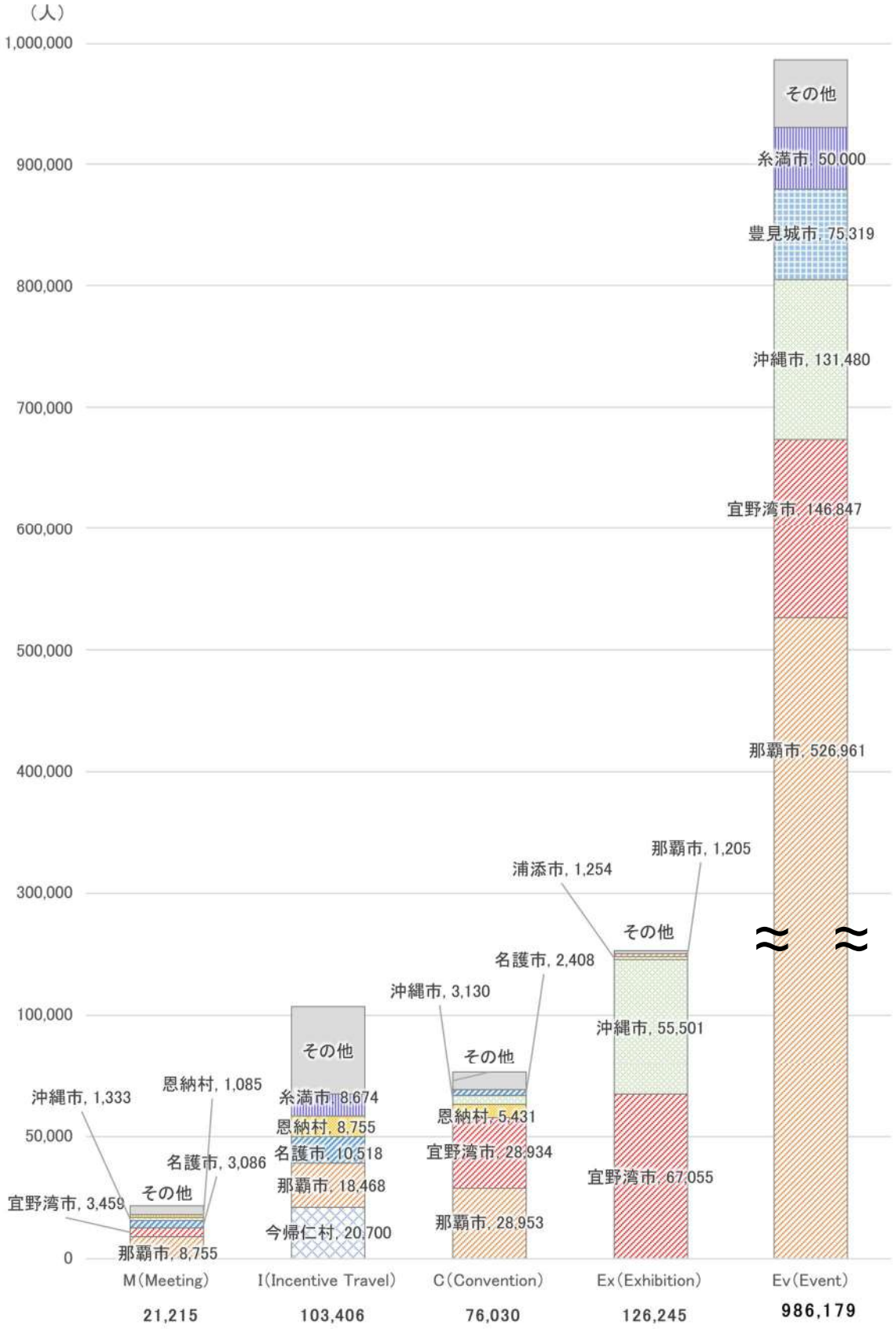


図表60.　　令和７年　市町村別参加者数

（単位：人）

	市町村名	参加者数	M（Meeting）	I（Incentive Travel）	C（Convention）	Ex（Exhibition）	Ev（Event）
1	那覇市	584,342	8,755	18,468	28,953	1,205	526,961
2	宜野湾市	251,331	3,459	5,036	28,934	67,055	146,847
3	沖縄市	198,143	1,333	6,699	3,130	55,501	131,480
4	豊見城市	83,063	144	7,499	101	0	75,319
5	糸満市	60,394	303	8,674	1,417	0	50,000
6	宮古島市	25,017	598	4,853	336	920	18,310
7	今帰仁村	20,927	227	20,700	0	0	0
8	名護市	19,263	3,086	10,518	2,408	0	3,251
9	恩納村	16,271	1,085	8,755	5,431	50	950
10	大宜味村	13,200	0	0	0	0	13,200
11	石垣市	9,899	669	6,954	1,522	0	754
12	浦添市	9,542	286	155	120	1,254	7,727
13	うるま市	5,403	18	28	0	0	5,357
14	本部町	3,298	50	899	106	0	2,243
15	西原町	2,532	15	180	2,337	0	0
16	読谷村	2,357	581	1,730	46	0	0
17	南城市	2,354	294	740	120	0	1,200
18	北谷町	2,144	207	1,337	200	0	400
19	竹富町	1,300	0	0	0	0	1,300
20	久米島町	922	63	0	399	260	200
21	伊江村	754	0	74	0	0	680
22	南風原町	380	0	0	380	0	0
23	宜野座村	107	0	107	0	0	0
24	金武町	90	0	0	90	0	0
25	北中城村	42	42	0	0	0	0
	合計	1,313,075	21,215	103,406	76,030	126,245	986,179

図表61.　　令和７年 催事別 市町村別 参加者数



（５）施設別開催件数

施設別開催件数は、ホテルが 953 件（前年比 74%、342 件減）と引き続き最多となった。一方、「観光施設（体験プログラム）」は 598 件（前年比 3,738%、582 件増）に急増し、新たに開業したテーマパークへの社員旅行等での訪問増加が影響したと考えられる。催事別では、ホテルの「Ｉ（Incentive Travel）」が 329 件減少した一方、同催事は「観光施設（視察・見学）」で 171 件、「観光施設（体験プログラム）」で 573 件増加しており、開催施設の構成が変化している。ヒアリングでも、観光施設が社員旅行の立ち寄り先や会議に伴うエクスカーション先として利用されていることが確認された。

図表62.　　施設別開催件数【令和元年～令和７年】

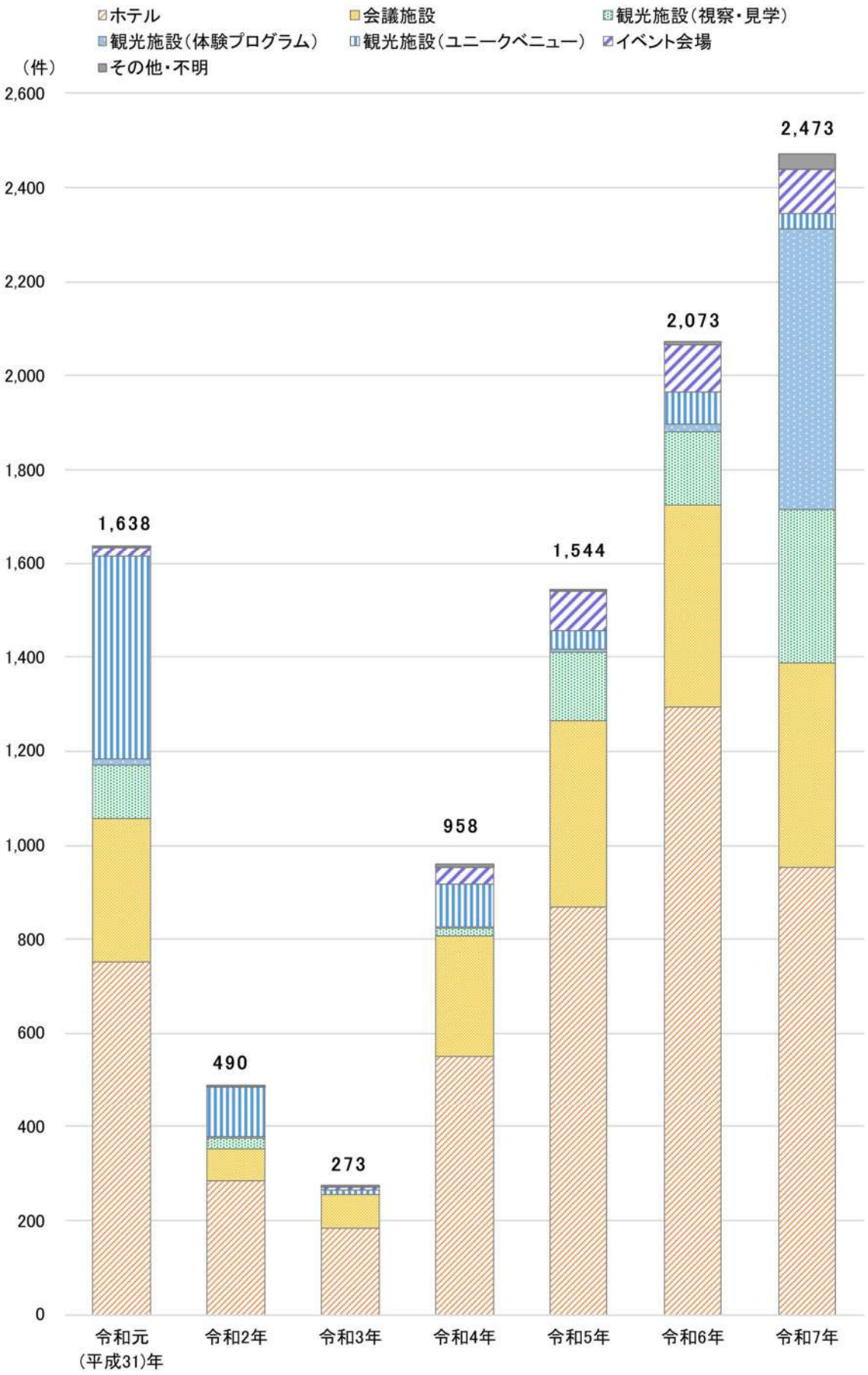
（単位:件）

No		令和元(平成 31)年					令和2年					令和3年					
		M	I	C	E	計	M	I	C	E	計	M	I	C	Ex	Ev	計
1	ホテル	87	609	42	15	753	44	222	11	9	286	30	135	6	5	9	185
2	会議施設	40	26	169	69	304	20	7	28	13	68	20	7	29	8	5	69
3	観光施設（視察・見学）	0	112	0	0	112	4	18	0	0	22	0	1	0	0	0	1
4	観光施設（体験プログラム）	0	13	1	0	14	0	3	0	1	4	0	0	0	0	0	0
5	観光施設（ユニークベニュー）	0	429	2	2	433	11	88	1	5	105	0	5	1	0	3	9
6	イベント会場	0	2	1	17	20	0	1	0	0	1	0	0	0	1	7	8
7	その他・不明	1	0	1	0	2	2	2	0	0	4	1	0	0	0	0	1
	合計	128	1,191	216	103	1,638	81	341	40	28	490	51	148	36	14	24	273

No		令和4年						令和5年					
		M	I	C	Ex	Ev	計	M	I	C	Ex	Ev	計
1	ホテル	76	444	23	6	2	551	95	739	20	11	4	869
2	会議施設	47	40	118	17	35	257	67	69	162	15	84	397
3	観光施設（視察・見学）	1	13	2	0	0	16	12	132	0	0	1	145
4	観光施設（体験プログラム）	0	3	0	0	1	4	0	6	0	0	0	6
5	観光施設（ユニークベニュー）	5	76	0	0	10	91	1	33	0	0	4	38
6	イベント会場	1	8	5	0	20	34	5	12	3	3	61	84
7	その他・不明	1	4	0	0	0	5	3	2	0	0	0	5
	合計	131	588	148	23	68	958	183	993	185	29	154	1,544

No		令和6年						令和7年					
		M	I	C	Ex	Ev	計	M	I	C	Ex	Ev	計
1	ホテル	198	1,042	33	12	10	1,295	206	713	31	2	1	953
2	会議施設	67	51	195	15	103	431	58	59	192	31	94	434
3	観光施設 （視察・見学）	8	145	0	0	1	154	7	316	6	0	0	329
4	観光施設 （体験プログラム）	0	15	0	0	1	16	10	588	0	0	0	598
5	観光施設 （ユニークベニュー）	3	59	3	1	4	70	1	21	2	0	8	32
6	イベント会場	4	13	2	3	77	99	3	19	3	5	62	92
7	その他・不明	2	4	0	0	2	8	6	17	7	1	4	35
	合計	282	1,329	233	31	198	2,073	291	1,733	241	39	169	2,473

図表63.　　施設別開催件数の推移　【令和元年～令和７年】



１－６. 経済波及効果の結果

平成 28（2016）年度に策定した「沖縄 MICE 振興戦略」で掲げる目標指標の達成状況を把握することを目的として、本調査で得られた基礎データを基に、経済効果の算出を行った。

１－６－１．経済効果（直接効果）

経済効果（直接効果）の算出については、「沖縄 MICE 振興戦略」で示している以下の算出方法を用いた。なお、各原単位の値については、令和７年の原単位は未集計であるため、「沖縄県 MICE 開催実態調査事業原単位調査（令和６年版）報告書」から、令和２年から令和６年の値の平均を参考値として用いた。また、「不明」の参加者数は、催事別の県内・県外・海外の参加者の構成比に合わせて割り振りを行った。

算出結果は約 518 億円となり、令和６年の 473 億円から 45 億円の増加、新型コロナウイルス感染症の影響がない令和元（平成 31）年と比較すると 245 億円の増加となった。

【計算式】

経済効果（直接効果）＝（参加者原単位(M/I/C/E) × 参加者人数(M/I/C/E)）＋（主催者原単位(M/I/C/E) × 参加者人数(M/I/C/E)）＋（出展者原単位(Ex のみ) × 出展者数(Ex のみ)）

出典:沖縄県（平成 28(2016)年）「沖縄 MICE 振興戦略」より

図表64.　本調査において経済効果(直接；参加者消費額・主催者消費額)算出に用いた各種数値

区分		件数	参加者数(人)				参加者原単位(円)			主催者原単位(円)	一人当たりの直接経済効果(円)		
			県内	県外	海外	計	県内	県外	海外		県内	県外	海外
							(a)			(b)	(a)+(b)		
M		291	3,968	16,408	839	21,215	3,627	36,027	45,858	60,688	64,315	96,715	106,546
I		1,733	387	91,398	11,621	103,406	2,808	32,781	39,433	101,705	104,513	134,486	141,138
C		241	22,445	48,200	5,385	76,030	11,644	76,971	116,731	55,506	67,150	132,477	172,237
E		208	1,008,733	89,835	13,856	1,112,424							
内訳	Ex	39	112,867	12,551	827	126,245	3,692	67,060	81,836	32,821	36,513	99,881	114,657
内訳	Ev	169	895,866	77,284	13,029	986,179	7,544	54,694	82,483	8,095	15,639	62,789	90,578
計		2,473	1,035,533	245,841	31,701	1,313,075							

※Ex: Exhibition（展示会・商談会）、Ev: Event（イベント）

図表65.　本調査において経済効果（直接；出展者支出額）算出に用いた各種数値

	出展者数(件)	出展者原単位(円)
Ex(Exhibition)	4,067	376,660

※出展者数：インターネット上で確認された主催者発表の出展者数から、１件当たりの平均出展者数を算出し、これに Ex 件数を乗じた値

図表66.　令和７年 催事別経済効果（直接効果）

（単位：億円）

区分		参加者消費額	主催者消費額	出展者支出額	直接効果
		(a)	(b)	(c)	(a)+(b)+(c)
M（Meeting）		6.4	12.9	－	19.3
I(Incentive Travel)		34.6	105.2	－	139.8
C（Convention）		46.0	42.2	－	88.2
E(Exhibition, Event)		133.9	121.3	15.3	270.5
内訳	Ex（Exhibition）	13.3	41.4	15.3	70.0
	Ev（Event）	120.6	79.8	－	200.4
計		221	282	15	518

※それぞれの合計値については小数点以下四捨五入により計算。

図表67.　参考 令和６年 催事別経済効果（直接効果）

（単位：億円）

区分		参加者消費額	主催者消費額	出展者支出額	直接効果
		(a)	(b)	(c)	(a)+(b)+(c)
M（Meeting）		10.1	17.5	－	27.6
I(Incentive Travel)		34.1	88.3	－	122.4
C（Convention）		40.9	39.9	－	80.8
E(Exhibition, Event)		114.8	113.7	14.0	242.5
内訳	Ex（Exhibition）	8.5	25.5	14.0	48.0
	Ev（Event）	106.4	88.3	－	194.7
計		200	259	14	473

※それぞれの合計値については小数点以下四捨五入により計算。

図表68.　経済効果（直接効果）の推移（令和元年～令和７年）

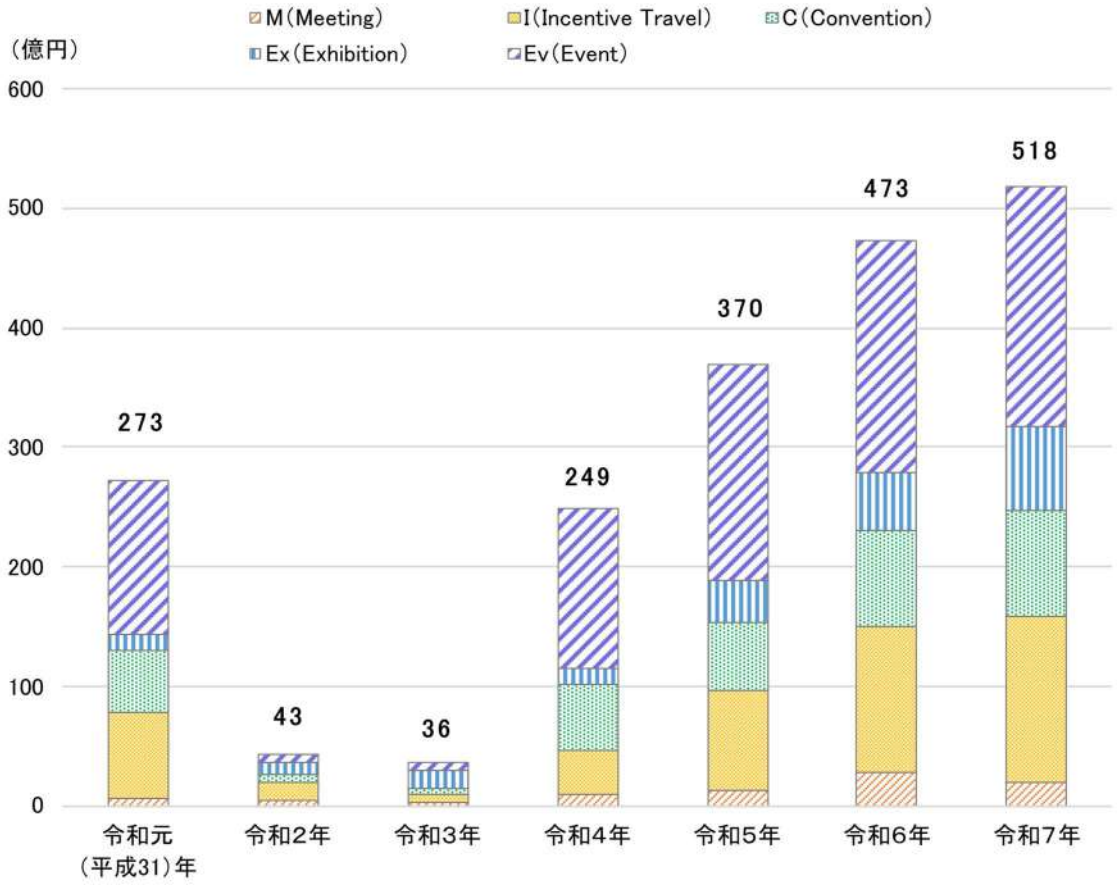
（単位：億円）

区分		令和元（平成 31）年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	
								金額	前年比増減額
M（Meeting）		7	4	3	10	14	28	19.3	−8.3
I(Incentive Travel)		71	16	7	37	82	122	139.8	17.4
C（Convention）		52	6	6	55	57	81	88.2	7.4
E(Exhibition, Event)		143	17	20	147	217	243	270.5	28.0
内訳	Ex（Exhibition）	14	11	15	14	37	48	70.0	22.0
	Ev（Event）	129	7	6	133	180	195	200.4	5.7
計		273	43	36	249	370	473	518	45

※それぞれの合計値については小数点以下四捨五入により計算。

図表69.　　経済効果（直接効果）の推移（令和元年～令和７年）

（単位：億円）



１－６－２．経済波及効果

経済波及効果の算出については、本調査で得られた基礎データを基に、１催事当たりの会期日数、参加者数等のモデルを作成し、観光庁の「MICE の経済波及効果測定のための地域別簡易測定モデル」（観光庁モデル）を用いて１催事あたり経済波及効果を算出した後、令和７年の MICE 開催件数を乗ずることで算出した。

算出結果は本調査事業始まって以来、調査開始以来最高の約 577 億円となり、令和６年の 561 億円から 16 億円の増加、新型コロナウイルス感染症の影響がない令和元（平成 31）年と比較すると約 235 億円の増加となった。

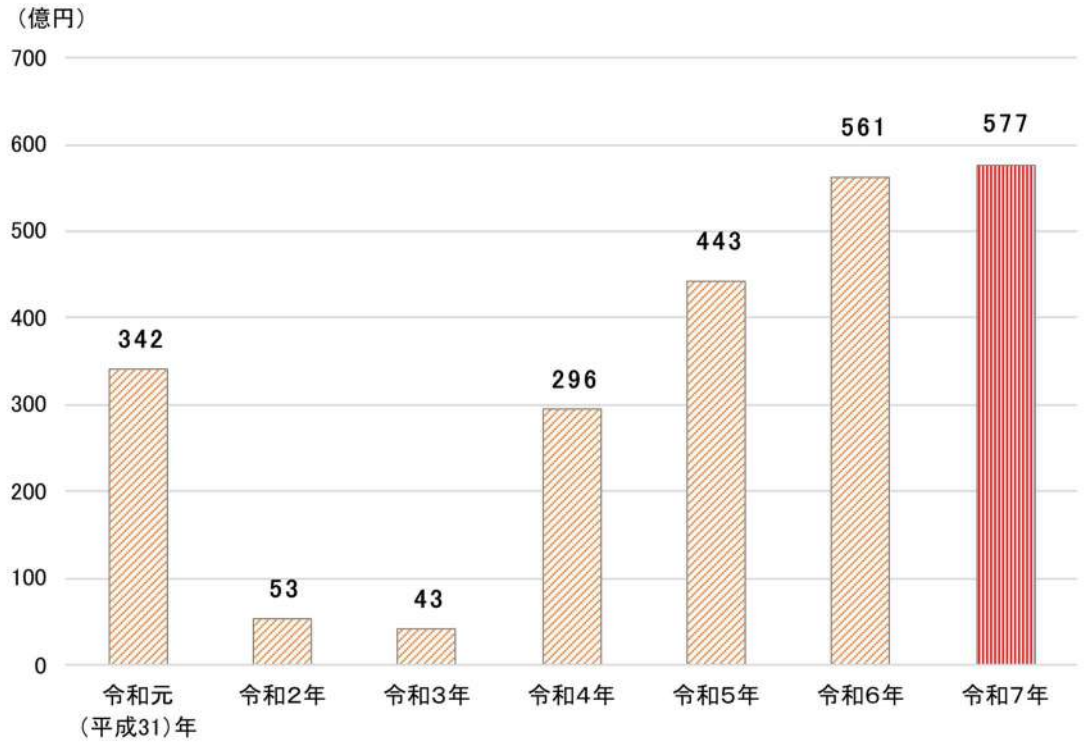
【計算式】

経済波及効果	＝	１催事当たりの経済波及効果	×	MICE 開催件数（令和７年）

出典:沖縄県（平成 28（2016）年）「沖縄 MICE 振興戦略」より

図表70.　　経済波及効果の推移（令和元年～令和７年）

（単位：億円）



沖縄県MICE開催実態調査（令和7年版）調査票（調査対象期間：2025年1月1日 ～ 2025年12月31日）

提出期限：令和8年（2026年）1月14日（水）　提出先：ランドブレイン株式会社 沖縄事務所　E-mail:okinawa_mice2025@surece.co.jp / FAX:098-860-0653

回答者ID	
企業・団体名	
ご担当者名	
連絡先電話番号	
E-mail	

★【記入上のご注意】★
※1 県外または海外から10名以上の参加者がいる催事が対象です。（詳しくは別添のガイドラインまたは説明資料をご参照ください。）
※2 催事名称や主催者名は可能な限りご記入ください。また、催事名称が分からない場合は、業種もしくは産業分類/会議分野をご記入ください。
（詳しくは別添の説明資料をご参照ください。）なお、個別の催事名・団体情報は、一切公表いたしません。
※3 参加者内訳は、出身地・国籍を問わず、参加時の居住地により振り分けてください。
（例：県内在住の方は県内、県外在住の方は県外、海外在住（邦人を含む）は海外。）
※4 オンライン参加者は除きます。

●令和7年（2025年）1月1日～令和7年（2025年）12月31日の期間において、MICEを受け入れましたか？　※どちらか1つを選択してください。
＊ 1.あり　○ 2.なし
→（『2.なし』と回答された場合）これで回答は終了です。

【『1.あり』と回答された場合】
令和7年（2025年）1月1日～令和7年（2025年）12月31日のMICE受入実績をご記入ください。

催事種別（プルダウンより選択）	催事名称 ※2	主催者	会場施設					催事の概要	産業分類/会議分野	備考（班編成や催事のURLなど）	参加者の主な居住地情報（都道府県／国）	開催期間				参加者（主催者を除く）※3、※4					海外参加者（主催者を除く）の内訳									
			会場市町村名	メイン会場（複数会場の場合のみ回答）	施設名	敷地面積	展示場名					始月	始日	終月	終日	県内	県外	海外	内訳不明	参加者合計（入力不要）	参加国数	中国	香港	台湾	韓国	タイ	シンガポール	その他	内訳不明	海外参加者合計	参加者合計（入力不要）
記入例	Exhibition	○○商談会・展示会	○○催事事務局	宜野湾市	沖縄コンベンションセンター	沖縄コンベンションセンター、△△ホテル	○○㎡	展示棟A、展示棟B	○○製品に関する商談会・展示会	D)建設業	1班	東京都	1	20	1	25	0	150	30	0	180	1	0	30	0	0	0	0	0	0	30	OK
																					0										0	OK
																					0										0	OK
																					0										0	OK
																					0										0	OK
																					0										0	OK
																					0										0	OK
																					0										0	OK
																					0										0	OK
																					0										0	OK
																					0										0	OK
																					0										0	OK
																					0										0	OK
																					0										0	OK
																					0										0	OK

2－2. ガイドライン

「沖縄県 MICE 開催実態調査（令和 7 年版）」ガイドライン

「MICE」の定義

「MICE」とは、企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・招待・研修旅行（Incentive Travel）、国際機関・団体や学会等が行う国内・国際会議（Convention）、展示会・見本市（Exhibition）、イベント等（Event）に該当する催事のことを指します。

調査対象となる「MICE」

本調査業務の対象となる「MICE」催事は、下記催事区分の定義に該当する催事のうち、**沖縄県外または日本国外からの参加者数（主催者を除く）が合計 10 名以上の催事とします。**

※参加者数（主催者を除く）には、オンライン参加者を含まない。

催事区分（M・I・C・E）について

本調査業務における「MICE」の催事区分は、以下の通りとします。

M（Meeting / 企業・団体会議）

企業・団体等（公共機関・学術団体等を除く）が主催する会議、研修、セミナー等

企業・団体会議は、企業・団体等（公共機関・学術団体等を除く）が「ビジネスの促進」や「アイデアの共有」等を目的として開催する「会議」、「研修」、「式典」、「セミナー」等を指すものとし、具体的には以下のような形態の催事をいいます。

（1）沖縄県外または日本国外拠点の社員を含む社内会議、顧客（沖縄県外・日本国外を含む）との会議・商談、サプライヤーとの会議等

（2）複数の顧客を対象とした新商品セミナー・業界セミナー・ビジネスカンファレンス等

（3）自社社員・販売員・販売代理店やサプライヤー企業を対象とした教育や情報発信目的の研修・セミナー等

（4）自社社員・顧客・販売代理店・サプライヤー等を対象とした周年パーティーや記念式典等

※ただし、上記（1）～（4）に相当する場合であっても、「Incentive Travel/インセンティブ旅行」の定義に該当する催事は、I（Incentive Travel/インセンティブ旅行）としてカウントします。

■企業/団体会議主催者の業種選択について■

企業/団体会議主催者の業種については、4 ページ目の表 1 から一番近いと思われるものを選択してください。

【催事区分 M（Meeting）の例】
「○○株式会社　全国責任者会議」、「○○株式会社　営業戦略会議」、
「○○会経営者総会」、「新人経営者向けの○○セミナー」、「グループミーティング」等

1

I（Incentive Travel / インセンティブ旅行）

企業等が主催する報奨旅行、研修旅行、社員慰労旅行、招待旅行等

インセンティブ旅行は、沖縄県外または日本国外を出発地とする団体旅行型催事のうち、「ビジネスの促進」、「アイデアの共有」、「参加対象者の過去の実績に対する報奨の提供」を目的とするものを指します。具体的には以下のような形態の催事をいいます。

（1）自社社員・販売員・販売代理店を対象とした報奨・研修・慰労目的の旅行

（2）業績に応じて一定の条件をクリアした社員を選抜して開催する催事

（3）催事の中に、経営方針・新商品等についての会議や研修等の要素が入るものもあるが、主目的が「参加社員のモチベーション向上」、「好業績に対する報奨」である催事

※したがって、上記の要件に該当しない**教育旅行（修学旅行、ゼミ旅行等）、募集型企画旅行、ファンクラブ向けツアー等は除きます。**

■インセンティブ旅行主催企業の業種選択について■

インセンティブ旅行主催企業の業種については、４ページ目の表１から一番近いと思われるものを選択してください。

【催事区分Ｉ（Incentive Travel）の例】
「○○株式会社　全社研修旅行」、「○○販売店グループ　成績優秀者表彰旅行」、
「○○代理店　沖縄特別セミナーツアー」等

C（Convention / 学会・大会）

協会・学会・国内（国際）機関・団体等が主催する国際会議、学術会議、学会、研究会、報告会、大会、講習会、セミナー、シンポジウム、ワークショップ等

学会・大会は、公共機関が主催する公益性の高いテーマを討議する国内・国際会議、大会等、または学術団体等が主催する学術的、技術的な議論・研究発表を目的とした学術会議、研究会、報告会等を指します。具体的には以下の様な形態の催事をいいます。

（1）官公庁等（地方自治体等を含む）が主催する政府間協議、全国会議、エリア会議等

（2）国際・国内の公共機関・団体等が主催する加盟国・団体の全体会議、調整会議等

（3）学術団体、研究機関等が主催する学術集会や研究発表会、ワークショップ、シンポジウム等

（4）業界団体等が主催する年次総会やテーマごとの発表等。ただし、M（Meeting/企業・団体会議）に該当するものを除く。

■開催された学会・大会等の分野選択について■

学会・大会の分野については、４ページ目の表２から一番近いと思われるものを選択してください。

【催事区分Ｃ（Convention）の例】
「日本○○学会　学術集会」、「○○協会　第○○回総会」、「○○に関する国際会議」等

E（Exhibition、Event / 展示会・見本市・イベント）

展示会、見本市、商談会、イベント

展示会・見本市・商談会とは、国や地域を超えた「モノ」、「サービス」、「情報」の売買や商談を目的として開催する、商品やサービス等の展示・宣伝・デモストレーションを行う催事をいいます。また、イベントとは、商品やサービスの販売促進、プロモーションの手段として開催する催事をいいます。

※ただし、Ex（Exhibition）の催事区分に相当する展示会であっても、フリーマーケット、路上販売会、美術・博物展等については本調査の対象外とします。また、Ev（Event）の催事区分に相当するイベント等であっても、就職説明会、スポーツイベント、入学式・入社式、卒業式・修了式、各種試験（採用試験、資格試験）等については本調査の対象外とします。

なお、ｅスポーツイベントは調査対象とします。

■展示会・見本市、イベント等の催事分野について■

展示会・見本市、イベント等の催事分野については、４ページ目の表１から一番近いと思われるものを選択してください。

【催事区分Ｅ（Exhibition、Event）の例】
〈Exhibition〉
「国際○○見本市」、「○○業界商談会」、「○○物産展」
〈Event〉
「○○ミュージックフェスタ」、「○○映画祭」、「○○ライブ」等

【表１】M（Meeting）、I（Incentive Travel）、E（Exhibition、Event）産業分類一覧
（日本標準産業分類に基づく）

（A）	農業、林業
（B）	漁業
（C）	鉱業、採石業、砂利採取業
（D）	建設業
（E）	製造業
（F）	電気・ガス・熱供給・水道業
（G）	情報通信業
（H）	運輸業、郵便業
（I）	卸売業、小売業
（J）	金融業、保険業
（K）	不動産業、物品賃貸業
（L）	学術研究、専門・技術サービス業
（M）	宿泊業、飲食サービス業
（N）	生活関連サービス業、娯楽業
（O）	教育、学習支援業
（P）	医療、福祉
（Q）	複合サービス事業
（R）	サービス業（他に分類されないもの）
（S）	公務（他に分類されるものを除く）

【表２】C（Convention）会議分野一覧　　（JNTO 国際会議統計に基づく）

（1）	政治、経済、法律
（2）	科学、技術、自然
（3）	医学
（4）	産業
（5）	芸術、文化、教育
（6）	社会
（7）	運輸、観光
（8）	社交、親善
（9）	宗教
（10）	スポーツ（講演会やセミナーの開催または併催の場合のみ）
（11）	その他